

科目名	心とからだの哲学	授業形態	講義
英語科目名	Body and Mind Philosophy	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期	単位数	2単位
代表教員	長沼 淳	ナンバリング	PHI1120
担当教員	長沼 淳、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>[授業の全体の内容]</p> <p>哲学の営為に触れ、哲学的に考えるということの意味を理解する。哲学とは、あらゆるものごとの基盤を問い返す試みである。したがってその対象は、人間の存在そのものといった根源的なものから日常生活でふと経験する些細なことまで非常に広い。本講では、われわれの存在について様々な角度から、これまでの哲学的な議論を基にしつつ、分析し、新たな視点を確保することを目指したい。あまりに当たり前すぎて考えてみることもしなかったような事象について捉え返す作業を積み重ね、哲学的考察の方法を習得できるようにしたい。こうした問いかけは、他者のみならず自らとの対話を求めるものであり、当然のことながらコミュニケーション能力や他者などと折り合いをつけながら生きるための基本的な視点を確保することになる。</p>		
到達目標	<p>[授業の到達目標]</p> <p>人間の生や生きるための具体的な営みを問い返すといった作業から、哲学的なものごとを考えるとはどのようなことなのかを理解できるようにする。そのうえで、自分の問題意識にそって、哲学的な考察ができるようになることを第二の目標とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 哲学という方法論を理解することができる。</li> <li>2. 世界の多様な存在様式について確認でき、それを幅広い他者理解につなげることができる。</li> <li>3. 他者との共存のためにコミュニケーションを通して調整することができる。</li> <li>4. 哲学的な理解を日常生活に応用、実践につなげることができる。</li> </ol>		
授業の位置づけ	この授業は、スポーツ健康科学部教育課程における3学科共通選択必修科目（一般教育科目・人文社会科学）に位置付けられる。		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	<p>[授業の位置づけ（学位授与方針に定められた知識・能力等との関連）]</p> <p>この科目は「スポーツ健康科学を中心とした幅広い知識と教養、およびそれらの活用能力」を身につけるものである。</p>		

履修上の注意、履修要件	<p>[履修要件] 特に指定しない。</p> <p>[履修上の注意] 「哲学的に考える」ということは簡単な問に見えて非常に難しい問題である。この授業を手がかりにして自らの生き方を振り返るきっかけとしてほしい。</p>
-------------	--

**成績評価の方法**

評価方法	<p>[成績評価の方法] 定期試験（80%）、レポート（15%）、小テスト（5%）を基本に総合的に評価する。</p>
------	--

評価基準	<p>[成績評価の基準]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 哲学的に考察することの、基本的な構造を理解できるか、レポート、定期テストで評価する。</li> <li>・ 哲学的な考察を、自らの問題に応用できるか、授業後の小テスト、定期テストで評価する。</li> <li>・ 上記応用に基づき、日常生活への実践方法を構想できるか、定期テストで評価する。</li> </ul>
------	--

**試験・課題に対するフィードバック方法**

<p>[課題に対するフィードバックの方法] レポートは翌週以降の講義後に評価や改善点を受講者に個別にフィードバックする。 定期試験については、次学期において評価、改善点をフィードバックする。</p>
---

**テキスト**

書名	著者	出版社	ISBN	備考
指定しない				

**参考文献**

<p>授業内において適宜紹介する。</p>
-----------------------

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
その他				
連絡先・オフィスアワー	<p>[連絡先] 連絡先は授業内に告知する。</p> <p>[オフィスアワー] 日時：木曜の講義の前後の時間 場所：1号館2階非常勤講師室 確実にコンタクトをとりたい場合は前日までメールにてアポイントメントをとること。</p>			
担当教員の実務経験	該当なし			
備考	<p>[学修時間] この授業は講義の授業形態による2単位の科目であり、90時間（授業30時間以上を含む）の学修を必要とする内容から成り立つ。</p> <p>[その他] 授業内容は受講生の要望に応じて変更する場合がある。 コロナの状況次第で授業計画、成績評価の基準及び方法が変更となる場合があるため、その都度の案内には注意してほしい。</p>			
1	長沼 淳	<p>(授業内容) オリエンテーション 哲学とは何かを考える</p> <p>(授業方法) 講義と小レポート作成を行う</p>	講義・演習	<p>(予習) 必要なし</p> <p>(復習：5時間) 哲学とは何かをまとめ、学びを深めること。</p>
2	長沼 淳	<p>(授業内容) スポーツとは何か</p> <p>(授業方法) 講義とその内容に応じた考察を行う</p>	講義・演習	<p>(予習：2時間) 配布プリントを確認しておくこと</p> <p>(復習：3時間) スポーツの持つ文化性について考えておくこと。</p>

3	長沼 淳	<p>(授業内容) スポーツと「体育」の違いについて</p> <p>(授業方法) 講義とその内容に基づき各自考察を行う</p>	講義・演習	<p>(予習：2時間) 予習：配布プリントを確認しておくこと。</p> <p>(復習：3時間) 体育は何を育てる科目なのかを考え直すこと。</p>
4	長沼 淳	<p>(授業内容) ルールを守るということ</p> <p>(授業方法) 講義とその内容に基づき各自考察を行う</p>	講義・演習	<p>(予習：2時間) 配布プリントを確認しておくこと。</p> <p>(復習：3時間) ルールとは何のために存在し、プレーヤーに順守を求めるのはなぜなのかを考えておくこと。</p>
5	長沼 淳	<p>(授業内容) フェアプレーとは何か</p> <p>(授業方法) 講義とその内容に基づき各自考察を行う</p>	講義・演習	<p>(予習：2時間) 配布プリントを確認しておくこと。</p> <p>(復習：2時間) スポーツマンシップに則り正々堂々と戦うとはどのようなことなのかを考えておくこと。</p>
6	長沼 淳	<p>(授業内容) アマスポーツとプロスポーツは何が異なるのか</p> <p>(授業方法) 講義とその内容に基づき各自考察を行う</p>	講義・演習	<p>(予習：2時間) 配布プリントを確認しておくこと。</p> <p>(復習：2時間) アマレスとプロレスは何が違うのかを考えておくこと。</p>

7	長沼 淳	<p>(授業内容) 心があるということ</p> <p>(授業方法) 講義とその内容に基づき各自考察を行う</p>	講義・演習	<p>(予習：2時間) 配布プリントを確認しておくこと</p> <p>(復習：2時間) ドラえもんには心があるのか、ペッパーには心があるのか、そもそも心があるとはどのようなことかを考えること。</p>
8	長沼 淳	<p>(授業内容) 本当とは何か</p> <p>(授業方法) 講義とその内容に基づき各自考察を行う</p>	講義・演習	<p>(予習：2時間) 配布プリントを確認しておくこと</p> <p>(復習：2時間) 自分の認識が正しかったり誤ったりするのはなぜなのか、そして今自分は正しく世界を認識しているのかを考えること。</p>
9	長沼 淳	<p>(授業内容) 記憶とは何か</p> <p>(授業方法) 講義とその内容に基づき各自考察を行う</p>	講義・演習	<p>(予習：2時間) 事前配布資料を確認しておくこと。</p> <p>(復習：2時間) 何かを思い出すこととあるものを思い浮かべることの違いについて考えておくこと。</p>
10	長沼 淳	<p>(授業内容) 確率とは何か</p> <p>(授業方法) 講義とその内容に基づき各自考察を行う</p>	講義・演習	<p>(予習：2時間) 配布プリントを確認しておくこと。</p> <p>(復習：2時間) 一回だけの出来事について確率計算をする意味を自分なりにまとめること。</p>

11	長沼 淳	<p>(授業内容) 名前と実体</p> <p>(授業方法) 講義とその内容に基づき各自考察を行う</p>	講義・演習	<p>(予習：2時間) 配布プリントを確認しておくこと。</p> <p>(復習：2時間) 言葉が意味を持つということについて、それがどういふことなのかを考えること。</p>
12	長沼 淳	<p>(授業内容) 私とは何か——アイデンティティについて考える</p> <p>(授業方法) 講義とその内容に基づき各自考察を行う</p>	講義・演習	<p>(予習：2時間) 配布プリントを確認しておくこと。</p> <p>(復習：2時間) アイデンティティ形成に関わる他者の存在の意義について自分なりに考えること。</p>
13	長沼 淳	<p>(授業内容) 主観は客観的になりうるか</p> <p>(授業方法) 講義とその内容に基づき各自考察を行う</p>	講義・演習	<p>(予習：2時間) 配布プリントを確認しておくこと。</p> <p>(復習：2時間) 言葉の意味が自分の思い通りに他者に伝わるのはなぜなのかを自分なりにまとめること。</p>

14	長沼 淳	<p>(授業内容) 哲学を哲学的に考える</p> <p>(授業方法) 講義とその内容に基づき各自考察を行う</p>	講義・演習	<p>(予習：2時間) 配布プリントを確認しておくこと。</p> <p>(復習：2時間) 試験の課題をしっかりと考えておくこと。</p>
		定期試験		








--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	社会学	授業形態	講義
英語科目名	Sociology	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期	単位数	2単位
代表教員	渡 正	ナンバリング	SOC1121
担当教員	渡 正、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>現代社会を取り巻く課題は数多く存在し、それらは私たちの身近なことから、国家規模の問題、世界全体の問題にまで広がっている。社会学の授業では、これら現代社会における諸課題とその背景知識について学ぶ。また、様々な社会的課題を考察するための社会的理論について学ぶ。</p> <p>講義と設定されたワークによって社会学の基礎を学ぶ他、現代の社会的課題についてのグループディスカッションと発表を行い、理解を深める。また、授業内・授業外の学修全般でJ-Passその他のICTを活用する。</p>		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 現代社会における課題を理解し、それが生起する背景的な問題を理解できる。</li> <li>2. 現代社会における課題を考えるための社会的理論／知識を理解し説明できる。</li> <li>3. 現代社会における課題を社会的な観点から解釈し、自らの考えとしてまとめる事ができる。</li> </ol>		
授業の位置づけ	この授業は、スポーツ健康科学部教育課程における3学科共通選択必修科目（一般教育科目・人文社会科学）に位置付けられる。		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	この科目は現代社会の課題を考察するための社会的知識の修得を通して、「スポーツ健康科学を中心とした幅広い知識と教養、およびそれらの活用能力」という学位授与方針の達成に寄与する科目の1つとして開講される。		

履修上の注意、履修要件	<p>[履修要件] 特になし</p> <p>[履修上の注意（科目独自のルール）] 1回の授業について、3分の2以上の出席時間がない場合は、その回の授業を欠席扱いとする。 本授業では、毎回、ICTを用いてワークの提出などを行う。そのためタブレットPC、ノートPCなどインターネットにアクセスし作業のできる機器を持ち込むことを推奨する。</p>
-------------	--

**成績評価の方法**

評価方法	定期試験（筆記）50%、毎回の課題の内容（レポート、ワーク、少テスト）40%、その他課題の取り組み状況10%
------	--

評価基準	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 現代社会における課題とその背景的問題を把握することができる（ワークシート）</li> <li>2. 現代社会における課題を理解するための社会学知識を理解している（小テスト・定期試験）</li> <li>3. 現代社会における課題を社会的な観点から考察することができる（課題レポート）</li> <li>4. その他、学習意欲や態度や取り組みを小テスト、提出された課題、ワークシートで評価する（平常点）</li> </ol>
------	---

**試験・課題に対するフィードバック方法**

授業内にて返却し、模範解答やポイントを提示し、解説する。定期試験・レポート課題については、希望する者には内容の解説等を行う。

**テキスト**

書名	著者	出版社	ISBN	備考

**参考文献**

授業・準備学習に関わる必要な資料は、授業中に適宜配布するか、J-Pass上にアップロードしますので、各自ダウンロードしてください。  
 友枝俊雄・浜日出夫・山田真茂留編（2017）『社会学の力：最重要概念・命題集』有斐閣。  
 西澤晃彦・渋谷望（2008）『社会学をつかむ』有斐閣。  
 ギデンズ、A（2009）『社会学第5版』而立書房。  
 上記は必ず用意しなければならないテキストではありませんが、レポート作成や準備学習の参考図書です。

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
<p>その他</p> <p>連絡先・オフィスアワー</p> <p>[連絡先] 担当：渡 正 E-mail: t-watari[at]juntendo.ac.jp ([at]を@に変更してください)</p> <p>[オフィスアワー] 日時：日時:13:00~14:30 場所：1号館3階1321室 (スポーツ社会学研究室) 上記の時間帯は予約がなくても対応しますが、予約してくれた学生を優先するので、前日までにE-mailやJ-Passから予約してください。</p> <p>担当教員の実務経験</p> <p>備考</p> <p>[学修時間] この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業時間30時間と準備学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。</p> <p>[その他] 新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p>				
1	渡 正 (以下同)	テーマ：社会学的想像力とは社会学の基本的な考え方を紹介する。	プリントとスライドを用いて講義形式で行う。提示されたワークを行い、提出する。	(予習：2時間) J-Passにアクセスし、提示された課題を行い、指定された方法で提出する。 (復習：2時間) 授業内容や資料を読み返し、理解を深めておく。
2		テーマ：近代社会の成立と社会学 大きな社会変動であった近代社会の成立と、それを分析する学としての社会学をコント・デュルケーム・ウェーバーの学説から考える	プリントとスライドを用いて講義形式で行う。提示されたワークを行い、提出する。	(予習：2時間) J-Passにアクセスし、提示された課題を行い、指定された方法で提出する。 (復習：2時間) 授業内容や資料を読み返し、理解を深めておく。

3		<p>テーマ：日常的行為の社会学  ゴフマンによる日常的行為の社会学から、およびエスノメソドロジーの会話分析から、私たちの日常的行為がいかに成り立っているかを解説する。</p>	<p>講義形式の授業に加え5名程度のグループになりワークシートに従ってワークとグループディスカッションを行う。</p>	<p>(予習：2時間)  J-Passにアクセスし、提示された課題を行い、指定された方法で提出する。  (復習：2時間)  授業内容や資料を読み返し、理解を深めておく。</p>
4		<p>テーマ：制度場面のコミュニケーション  地位-役割理論とIRE連鎖など「ワークの実践」について解説する。</p>	<p>講義形式の授業に加え5名程度のグループになりワークシートに従ってワークとグループディスカッションを行う。</p>	<p>(予習：2時間)  J-Passにアクセスし、提示された課題を行い、指定された方法で提出する。  (復習：2時間)  授業内容や資料を読み返し、理解を深めておく。</p>
5		<p>テーマ：教育制度と教育機能の社会学  現代社会における能力主義と学校教育の社会化／選抜・配分機能について解説し、学校教育の歴史とその機能について理解を深める。</p>	<p>講義形式の授業に加え5名程度のグループになりワークシートに従ってワークとグループディスカッションを行う。</p>	<p>(予習：2時間)  J-Passにアクセスし、提示された課題を行い、指定された方法で提出する。  (復習：2時間)  授業内容や資料を読み返し、理解を深めておく。</p>
6		<p>テーマ：少子高齢化社会の諸相  人口動態および出生率、未婚化・晩婚化、諸国の対応などについて解説し、現代日本における少子高齢化問題について理解する。</p>	<p>講義形式の授業に加え5名程度のグループになりワークシートに従ってワークとグループディスカッションを行う。</p>	<p>(予習：3時間)  J-Passにアクセスし、提示された課題を行い、指定された方法で提出する。  (復習：3時間)  授業内容や資料を読み返し、理解を深めておく。</p>

7		<p>テーマ：貧困問題とは 絶対的貧困、相対的貧困、相対的剥奪やジニ係数について解説し、現代の格差社会の進展と日本の貧困問題について理解する。</p>	<p>講義形式の授業に加え5名程度のグループになりワークシートに従ってワークとグループディスカッションを行う。</p>	<p>(予習：2時間) J-Passにアクセスし、提示された課題を行い、指定された方法で提出する。 (復習：2時間) 授業内容や資料を読み返し、理解を深めておく。</p>
8		<p>テーマ：社会的排除 社会階層論、社会的排除について解説し、日本における差別（部落・地域）の問題について理解する。</p>	<p>講義形式の授業に加え5名程度のグループになりワークシートに従ってワークとグループディスカッションを行う。</p>	<p>(予習：2時間) J-Passにアクセスし、提示された課題を行い、指定された方法で提出する。 (復習：2時間) 授業内容や資料を読み返し、理解を深めておく。</p>
9		<p>テーマ：ジェンダーとセクシュアリティの多様性 ジェンダー、セクシュアリティ、セクシュアル・マイノリティについて解説し、マジョリティからの抑圧と性の多様性についてのフェミニズム理論を理解する。</p>	<p>講義形式の授業に加え5名程度のグループになりワークシートに従ってワークとグループディスカッションを行う。</p>	<p>(予習：2時間) J-Passにアクセスし、提示された課題を行い、指定された方法で提出する。 (復習：2時間) 授業内容や資料を読み返し、理解を深めておく。</p>
10		<p>テーマ：障害の社会学 ICF、障害の個人モデル、障害の社会モデル、共生社会について解説し、障害とは何か、共生社会とは何かについて理解する。</p>	<p>講義形式の授業に加え5名程度のグループになりワークシートに従ってワークとグループディスカッションを行う。</p>	<p>(予習：3時間) J-Passにアクセスし、提示された課題を行い、指定された方法で提出する。 (復習：3時間) 授業内容や資料を読み返し、理解を深めておく。</p>

11		<p>テーマ：民族とナショナリズム          民族、国民、国民国家、ナショナリズムなどについて、B・アンダーソンの「想像の共同体」論の視点から解説する。</p>	<p>講義形式の授業に加え5名程度のグループになりワークシートに従ってワークとグループディスカッションを行う。</p>	<p>(予習：2時間)          J-Passにアクセスし、提示された課題を行い、指定された方法で提出する。          (復習：2時間)          授業内容や資料を読み返し、理解を深めておく。</p>
12		<p>テーマ：メディアはメッセージである          エンコーディング/デコーディング、ホット/クールメディア、メディアの機能分析(順機能・逆機能)などについて解説し、現代社会の各メディアの特徴と機能について理解する。</p>	<p>講義形式の授業に加え5名程度のグループになりワークシートに従ってワークとグループディスカッションを行う。</p>	<p>(予習：2時間)          J-Passにアクセスし、提示された課題を行い、指定された方法で提出する。          (復習：2時間)          授業内容や資料を読み返し、理解を深めておく。</p>
13		<p>テーマ：グローバリゼーション          グローバリゼーション、新自由主義、多文化主義、福祉国家など、現代社会のグローバル化の状況を解説し、グローバル化に伴う経済・社会・政治・文化の問題について理解する。</p>	<p>講義形式の授業に加え5名程度のグループになりワークシートに従ってワークとグループディスカッションを行う。</p>	<p>(予習：2時間)          J-Passにアクセスし、提示された課題を行い、指定された方法で提出する。          (復習：2時間)          授業内容や資料を読み返し、理解を深めておく。</p>

14		<p>テーマ：現代社会の諸相 消費社会（記号消費）や、ポストモダン、データベース型社会や生権力など、現代社会で生起する事象を考えるための諸理論を解説する。</p>	<p>講義形式の授業に加え5名程度のグループになりワークシートに従ってワークとグループディスカッションを行う。</p>	<p>(予習：2時間) J-Passにアクセスし、提示された課題を行い、指定された方法で提出する。 (復習：2時間) 授業内容や資料を読み返し、理解を深めておく。</p>








--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	心理学	授業形態	講義
英語科目名	Psychology	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期	単位数	2単位
代表教員	村上 達也	ナンバリング	PSY1122
担当教員	村上 達也、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>本講義では、実証科学としての心理学について、①科学とは何か、②心理学の科学性とは何か、について解説し、それらを踏まえた上で、③心理学の方法論について解説する。また、実際の心理学研究がどのように行われているのか、どのような研究知見があるのかについて、教室での疑似実験を行いながら解説する。本科目では、心理学の基礎的な内容を理解することが目標であるが、実生活のほか教育現場や医療現場などで実際に役立つ応用的な内容も扱っていく。</p>		
到達目標	<p>本講義では、以下の4点を到達目標とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 心理学を理解するための前提として、科学とは何かについて理解する。</li> <li>2. 心理学の科学性について理解する。</li> <li>3. 心理学の科学的方法論について理解する。</li> <li>4. 1～3を達成することによって、心理学の観点に基づく人間理解を深めることができるようになることを総合的な到達目標とする。</li> </ol>		
授業の位置づけ	この授業は、スポーツ健康科学部教育課程における3学科共通選択必修科目（一般教育科目・人文社会科学）に位置付けられる。		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	この授業は、心理学への科学的な理解を深めることにより、スポーツ健康科学部の学位授与方針に定める「スポーツ健康科学に関連した幅広い知識を基礎とした教養」を身につけることを目標とする。		

履修上の注意、履修要件	<p>履修要件：特になし</p> <p>履修上の注意：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 配布プリントを保管するためのファイルを準備すること。</li> <li>2. 授業への遅刻を2回した場合には欠席1回分として扱う。</li> <li>3. レポートを期限内に遅れて提出した場合には、レポートの評価は50%に減点する（提出しない場合には0点とする）。</li> </ol> <p>※ 本講義の履修者が多数になった場合には、履修候補者を初日の出席者に限定した上で履修制限を行うことがある。</p>
-------------	--

**成績評価の方法**

評価方法	<p>中間レポート30%・定期試験40%、授業内レポート30%を基本に総合的に評価する。ただし、受講態度がふさわしくなく、改善が認められない場合、減点する。【成績評価の基準】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人間の情報処理過程を理解し説明できる。（定期試験）</li> <li>2. 人間の対人コミュニケーションの特徴を理解し説明できる。（定期試験）</li> <li>3. 人間の生涯発達の特徴を理解し説明できる。（定期試験）</li> <li>4. 臨床心理学の概論を理解し説明できる。（定期試験）</li> </ol>
------	--

評価基準	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 心理学を理解するための前提として、科学とは何かについて理解する。（中間レポート・定期試験）</li> <li>2. 心理学の科学性について理解する。（中間レポート・定期試験）</li> <li>3. 心理学の科学的方法論について理解する。（定期試験）</li> <li>4. 1～3を達成することによって、心理学の観点に基づく人間理解を深めることができるようになることを総合的な到達目標とする。（授業内レポート・定期試験）</li> </ol>
------	--

**試験・課題に対するフィードバック方法**

授業内の質問や疑問は、適宜対応する。
--------------------

**テキスト**

書名	著者	出版社	ISBN	備考

**参考文献**

<p>テキストは使用せず、配布プリントを用いて講義を進める。参考書などは授業の際に適宜、紹介を行う。</p>
--

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
<p>【連絡先】            担当：村上達也            E-mail:t.murakami.lr [at] juntendo.ac.jp            ※ [at]を@に変更</p> <p>【オフィスアワー】            時間：月曜日 12:30-13:00            場所：さくらキャンパス1号館2階1221号室</p> <p>※上記の時間帯には予約なしに質問や相談に応じますが、他の学生の相談時間と重ならないようにするために、できるだけ前日までにE-mailで予約してください。質問や相談は予約のあった学生を優先します。</p>				
<p>【学修時間】            この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業30時間と準備学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。</p> <p>【その他】            学生の学習進度に応じて、あるいは、授業内レポートのコメントに応じて授業計画を変更する場合がある。また、授業の中で、4年生や大学院生などによる質問紙調査や実験への参加募集を行う場合がある。参加することによって、心理学研究の実際を体験することができ、心理学を学ぶ上でメリットとなる。しかし、参加・不参加は履修者本人の自由であり、参加・不参加および回答内容などによる成績への影響は一切ない。履修者本人・保護者が調査研究への参加を希望しない場合、および、参加したものの研究での使用を希望しない場合、講義内やメールなどでその旨を科目責任者まで連絡すること。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の発生状況やその他の状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合がある。</p>				
<p>【連絡先】            担当：村上達也            E-mail:t.murakami.lr [at] juntendo.ac.jp            ※ [at]を@に変更</p> <p>【オフィスアワー】            時間：月曜日 12:30-13:00            場所：さくらキャンパス1号館2階1221号室</p> <p>※上記の時間帯には予約なしに質問や相談に応じますが、他の学生の相談時間と重ならないようにするために、できるだけ前日までにE-mailで予約してください。質問や相談は予約のあった学生を優先します。</p>				
<p>【学修時間】            この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業30時間と準備学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。</p> <p>【その他】            学生の学習進度に応じて、あるいは、授業内レポートのコメントに応じて授業計画を変更する場合がある。また、授業の中で、4年生や大学院生などによる質問紙調査や実験への参加募集を行う場合がある。参加することによって、心理学研究の実際を体験することができ、心理学を学ぶ上でメリットとなる。しかし、参加・不参加は履修者本人の自由であり、参加・不参加および回答内容などによる成績への影響は一切ない。履修者本人・保護者が調査研究への参加を希望しない場合、および、参加したものの研究での使用を希望しない場合、講義内やメールなどでその旨を科目責任者まで連絡すること。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の発生状況やその他の状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合がある。</p>				
1	村上 達也	<p>(授業内容)            オリエンテーションとして、授業の目的と概要、成績評価、履修上の注意について説明する。また、受講生の持つ心理学に対する印象を把握し、心理学の全体像について解説する。</p>	<p>(授業方法)            授業中に示すスライドに沿って講義を進める。</p>	<p>【予習：1時間】            自身の持つ心理学に対する印象（イメージ）や心理学について知っていることを整理しておく。            【復習：1時間】            心理学の全体像について、学んだ知識を整理しておく。</p>
2	村上 達也	<p>(授業内容)            実証科学とは何か：実証科学に基づく心理学を理解するために、科学について解説する。</p>	<p>(授業方法)            授業中に示すスライドに沿って講義を進める。</p>	<p>【予習：1時間】            前の授業中に課した予習内容に取り組む。            【復習：2時間】            授業中にキーワードとして示した用語について、自分で説明できるように理解しておく。</p>

3	村上 達也	<p>(授業内容) 科学の方法：実証科学における科学の方法論について解説する。</p>	<p>(授業方法) 授業中に示すスライドに沿って講義を進める。</p>	<p>【予習：1時間】 前の授業中に課した予習内容に取り組む。 【復習：2時間】 授業中にキーワードとして示した用語について、自分で説明できるように理解しておく。</p>
4	村上 達也	<p>(授業内容) 科学としての心理学（1）相互主観性と操作主義：心理学が科学であるための要件としての相互主観性や操作主義について解説する。</p>	<p>(授業方法) 授業中に示すスライドに沿って講義を進める。</p>	<p>【予習：1時間】 前の授業中に課した予習内容に取り組む。 【復習：2時間】 授業中にキーワードとして示した用語について、自分で説明できるように理解しておく。</p>
5	村上 達也	<p>(授業内容) 科学としての心理学（2）心理測定：心理学の中の中核概念である心理測定について、その性質と特徴を解説する。</p>	<p>(授業方法) 授業中に示すスライドに沿って講義を進める。</p>	<p>【予習：1時間】 前の授業中に課した予習内容に取り組む。 【復習：2時間】 授業中にキーワードとして示した用語について、自分で説明できるように理解しておく。</p>
6	村上 達也	<p>(授業内容) 心理学実験の紹介（1）注意に関する心理学：ヒトの注意に関する認知心理学的研究とその応用について解説する。</p>	<p>(授業方法) 授業中に示すスライドに沿って講義を進める。</p>	<p>【予習：1時間】 前の授業中に課した予習内容に取り組む。 【復習：2時間】 授業中にキーワードとして示した用語について、自分で説明できるように理解しておく。</p>

7	村上 達也	<p>(授業内容) 心理学の科学性に関するまとめ／中間レポート：ここまでの授業を振り返って、心理学の科学性に関してのまとめを行い、それに関する中間レポートを課す。</p>	<p>(授業方法) 第1～6回目までの内容に関する総括を行い、一連の流れを解説し、質問や疑問について答えていく。</p>	<p>【予習：5時間】 これまでの内容を体系的に整理するとともに、心理学の科学性について自分なりの考えをまとめておく。 【復習：10時間】 授業内での一連の説明や疑問への応答を通じて、心理学の科学性に関する自己の考えをまとめ、レポートを作成する。</p>
8	村上 達也	<p>(授業内容) 心理学の方法論：心理学の方法論について紹介し、特に実験法について解説する。</p>	<p>(授業方法) 授業中に示すスライドに沿って講義を進める。</p>	<p>【予習：1時間】 前の授業中に課した予習内容に取り組む。 【復習：2時間】 授業中にキーワードとして示した用語について、自分で説明できるように理解しておく。</p>
9	村上 達也	<p>(授業内容) 心理学実験法（1）被験者内計画：被験者内計画について解説し、それを用いた心理学研究を紹介する。</p>	<p>(授業方法) 授業中に示すスライドに沿って講義を進める。</p>	<p>【予習：1時間】 前の授業中に課した予習内容に取り組む。 【復習：2時間】 授業中にキーワードとして示した用語について、自分で説明できるように理解しておく。</p>
10	村上 達也	<p>(授業内容) 心理学実験法（2）被験者間計画：被験者間計画について解説し、それを用いた心理学研究を紹介する。</p>	<p>(授業方法) 授業中に示すスライドに沿って講義を進める。</p>	<p>【予習：1時間】 前の授業中に課した予習内容に取り組む。 【復習：2時間】 授業中にキーワードとして示した用語について、自分で説明できるように理解しておく。</p>

11	村上 達也	<p>(授業内容) 心理学実験法 (3) 混合計画：混合計画について解説し、それを用いた心理学研究を紹介する。</p>	<p>(授業方法) 授業中に示すスライドに沿って講義を進める。</p>	<p>【予習：1時間】 前の授業中に課した予習内容に取り組む。 【復習：2時間】 授業中にキーワードとして示した用語について、自分で説明できるように理解しておく。</p>
12	村上 達也	<p>(授業内容) 心理学実験の紹介 (2) 錯覚に関する心理学：ヒトの錯覚に関する認知心理学的研究とその応用について解説する。</p>	<p>(授業方法) 授業中に示すスライドに沿って講義を進める。</p>	<p>【予習：1時間】 前の授業中に課した予習内容に取り組む。 【復習：2時間】 授業中にキーワードとして示した用語について、自分で説明できるように理解しておく。</p>
13	村上 達也	<p>(授業内容) 心理学実験の紹介 (3) 抑制に関する心理学：ヒトの抑制機能に関する心理学実験を教室で実演し、それを解説する。</p>	<p>(授業方法) 授業中に示すスライドに沿って講義を進める。</p>	<p>【予習：1時間】 前の授業中に課した予習内容に取り組む。 【復習：2時間】 授業中にキーワードとして示した用語について、自分で説明できるように理解しておく。</p>

14	村上 達也	<p>(授業内容)  総合復習：これまでの総括を行い、心理学の視点を踏まえた人間理解について解説する。</p>	<p>(授業方法)  第8～13回目までの内容に関する総括を行い、一連の流れを解説し、質問や疑問について答えていく。</p>	<p>【予習：5時間】  これまでの内容を体系的に整理するとともに、実験計画および紹介した心理学実験についてまとめておく。  【復習：5時間】  授業内での一連の説明や疑問への応答を通じて、これまでの授業を振り返り、理解を深める。</p>
		<p>定期試験</p>		








--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	経済学	授業形態	講義
英語科目名	Economics	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期	単位数	2単位
代表教員	李 照錫	ナンバリング	EC01123
担当教員	李 照錫、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>【授業全体の内容】          経済学の用語・概念を理解し、それらを用いて具体的な経済問題を理解する。特に、人々の経済行動を分析するミクロ経済学、および一          国全体の経済状況を分析するマクロ経済学の双方についてバランス良く学習する。          テレビや新聞等で報じられる経済ニュースは社会に出た途端に自身のビジネスや生活に関わるものとなる。本講義で扱うトピックは経済          学という学問として捉えるのではなく、むしろ社会・経済で生活する上での一般常識に近いものだと思って、修得する必要性を感じなが          ら臨んで欲しい。</p>		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ミクロ経済学とマクロ経済学の基本的用語を理解し、それぞれの概念の関係について説明できる。</li> <li>2. 具体的な経済問題について、講義で学んだ用語を用いて論じることができる。</li> <li>3. これからの経済社会にどのように対応していくのかを理解できる。</li> </ol>		
授業の位置づけ	この授業は、スポーツ健康科学部教育課程における3学科共通選択必修科目（一般教育科目・人文社会科学）に位置付けられる。		
ディプロマ・ポリ シー、コンピテンシー との関連	この科目は、経済学を通してスポーツ健康科学を中心とした幅広い知識と教養を身に付ける。		

履修上の注意、履修要件	<p>【履修要件】 特になし</p> <p>【履修上の注意（科目独自のルール）】 特になし</p>
-------------	---

成績評価の方法

評価方法	<p>【成績評価の方法】 定期試験70%、授業内レポート30%で評価します。なお、受講態度が授業進行上ふさわしくないと判断した場合は、減点の対象とします。</p>
------	---

評価基準	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ミクロ経済学とマクロ経済学の基本的用語について説明できる。（定期試験）</li> <li>2. 具体的な経済問題について、講義で学んだ用語を用いて解釈できる。（定期試験）</li> <li>3. 受講態度や学習意欲を授業内レポートで評価する。（授業内レポート）</li> </ol>
------	---

試験・課題に対するフィードバック方法

授業内の質問や疑問は、適宜対応する。
--------------------

テキスト

書名	著者	出版社	ISBN	備考

参考文献

<p>プリントを授業時に配付する。参考書として伊藤元重『ミクロ経済学』日本評論社、2003年と伊藤元重『マクロ経済学』日本評論社、2005年を挙げるが、購入の必要は無い。</p>
---

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
その他				
連絡先・オフィスアワー	<p>【連絡先】 担当：李熙錫 E-Mail：lee.kb[at]juntendo.ac.jp ※[at]を@に置換してください。</p> <p>【オフィスアワー】 授業時間後に非常勤講師室（1号館2階）で対応する。</p>			
担当教員の実務経験				
備考	<p>【学修時間】 この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、90時間（授業時間30時間以上を含む）の学修を必要とする内容をもって構成する。</p> <p>【実務経験のある教員による授業】 該当しない</p> <p>【その他】 新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p>			
1	李熙錫 (イー・ヒーソク)	<p>(授業内容) 経済学はどのような学問か、分析の対象と方法について理解する。</p> <p>(授業方法) 経済学の二大分野であるミクロ経済学とマクロ経済学の概要について解説する。</p>		<p>(予習：2時間) 最近の日本や世界で起きた経済ニュースについて調査する。</p> <p>(復習：3時間) ミクロ経済学とマクロ経済学の特徴や相違点について整理する。</p>
2	李熙錫 (イー・ヒーソク)	<p>(授業内容) 経済学の歴史的な展開について学習する。</p> <p>(授業方法) アダム・スミス、ケインズなどの経済学による理論を解説する。</p>		<p>(予習：2時間) アダム・スミスとケインズについて調査する。</p> <p>(復習：3時間) ケインズ政策と新古典派政策の中でどの政策が望ましいのか考察する。</p>

3	李熙錫 (イー・ヒーソク)	<p>(授業内容) ミクロ経済学について学習する。</p> <p>(授業方法) 経済学の中でのミクロ経済学は、資源配分の問題、ミクロ経済学と市場の失敗などミクロ経済学の特徴について分析する。</p>		<p>(予習：2時間) 資源配分問題の概要をつかむ。</p> <p>(復習：3時間) 現実の中でミクロ経済学はどのように我々の生活中で活かしているか考える。</p>
4	李熙錫 (イー・ヒーソク)	<p>(授業内容) 需要と供給について学習する。</p> <p>(授業方法) 需要と供給の仕組みを検討し、それをを用いて需要曲線と供給曲線をを分析する。</p>		<p>(予習：2時間) 需要曲線と供給曲線の違いをつかむ。</p> <p>(復習：3時間) 現実の生活の中で需要と供給がどのような影響を与えているのかを考える。</p>
5	李熙錫 (イー・ヒーソク)	<p>(授業内容) 消費者行動と需要曲線について学習する。</p> <p>(授業方法) 消費者余剰と企業行動をを分析する。</p>		<p>(予習：2時間) 消費者行動による需要曲線の動きをつかむ。</p> <p>(復習：2時間) 現実の消費者余剰によって企業はどのような行動をとるのかを考える。</p>
6	李熙錫 (イー・ヒーソク)	<p>(授業内容) 需給均衡を学習する。</p> <p>(授業方法) 需要曲線と供給曲線によって交差する交点の重要性を学ぶ。</p>		<p>(予習：2時間) 世の中の財・サービスはどうしてそれぞれで価格が異なるのかを考える。また、どのようなときに価格が変化するか考える。</p> <p>(復習：2時間) 経済に様々な外的ショックが発生したときに市場均衡がどう動くのかを整理する。</p>

7	李熙錫 (イー・ヒーソク)	<p>(授業内容) マクロ経済学について学習する。</p> <p>(授業方法) マクロ経済学は何か。マクロ経済学の基本的な用語、恒等式、三面等価、付加価値を解説する。</p>		<p>(予習：2時間) 三面等価と付加価値について調べてその意味をつかむ。</p> <p>(復習：2時間) 現実の中でマクロ経済学が我々の生活にどのように影響しているのかを考える。</p>
8	李熙錫 (イー・ヒーソク)	<p>(授業内容) マクロ経済学の捉え方を学ぶ。</p> <p>(授業方法) マクロ経済学の需要と供給、経済成長率と寄与度について解説する。</p>		<p>(予習：2時間) GDPと成長方程式について調査する。</p> <p>(復習：2時間) マクロ経済の動きが経済に及ぼす影響について考える。</p>
9	李熙錫 (イー・ヒーソク)	<p>(授業内容) GDPとマクロ経済学について学習する。</p> <p>(授業方法) 需要と供給は、どちらがマクロ経済の動きを決めるのかを学習する。</p>		<p>(予習：2時間) 供給について新古典派の考え方を調査する。</p> <p>(復習：2時間) 需要と供給についてケインズ派と新古典派の考え方を学ぶ。</p>
10	李熙錫 (イー・ヒーソク)	<p>(授業内容) 乗数について学習する。</p> <p>(授業方法) 限界消費性向と乗数を学習する。</p>		<p>(予習：2時間) 限界消費性向と乗数について調査する。</p> <p>(復習：2時間) 生産、所得、需要について学ぶ。</p>

11	李熙錫 (イー・ヒーソク)	<p>(授業内容) 需要不足の経済について学習する。</p> <p>(授業方法) 投資と政府支出について説明する。</p>		<p>(予習：2時間) 乗数プロセスについて調査する。</p> <p>(復習：2時間) マクロ経済の基本的な考え方をつかむ。</p>
12	李熙錫 (イー・ヒーソク)	<p>(授業内容) ゲーム理論について学習する。</p> <p>(授業方法) ゲーム理論を説明する。</p>		<p>(予習：2時間) ゲーム理論について調査する。</p> <p>(復習：2時間) ゲーム理論が社会経済にどのように応用できるかを考える。</p>
13	李熙錫 (イー・ヒーソク)	<p>(授業内容) FTA、EPA、TPPについて学習する。</p> <p>(授業方法) 国際経済連携について概観する。</p>		<p>(予習：2時間) FTA、EPA、TPPについて調べる。</p> <p>(復習：2時間) 日本の通商戦略を考える。</p>

14	李熙錫 (イー・ヒー ソク)	<p>(授業内容) 日本の借金について学習する。</p> <p>(授業方法) 日本の借金はどのようにして膨らみ、世界で最も多くなったのかを概観する。</p>		<p>(予習：2時間) 人口の高齢化と社会保障について調査する。</p> <p>(復習：2時間) 日本の借金が我々の暮らしにどのような影響があるのかを考察する。</p>
		<p>期末試験</p>		








--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	法学	授業形態	講義
英語科目名	Law and Society	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期	単位数	2単位
代表教員	池田 良彦	ナンバリング	LAW1132
担当教員	池田 良彦、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>[授業全体の内容]  近代の立憲主義が要請する基本的な考え方は、英米では「法の支配 (rule of law)」、欧州諸国では「法治国家 (government of laws and not of men)」という。国家は法に基づきその規律を受け、これにより国民は法に従った生活を求められることから、「法的なものの考え方 (legal mind)」を習得することが重要となる。法律は憲法の精神に従って制定され、代表的なものとして実体法（民法・刑法・商法など）、手続法（刑事訴訟法・民事訴訟法など）がある。これらを遵守することで国家の法的安定性が維持されることになる。この授業では判例を通して代表的な法律の考え方を理解することとする。</p> <p>[授業の位置づけ（学位授与方針に定められている知識・能力等との関連）]  この科目は「スポーツ健康科学を中心とした幅広い知識および教養」を身につけることを目的とする。</p> <p>[授業の到達目標]  1. 法的なものの考え方 (legal mind) の概要を理解できる。  2. 代表的な法律の考え方について判例を通して理解したうえで、その問題点を説明できる。  3. 法的なものの考え方 (legal mind) について、自説を展開できる。</p>		
到達目標			
授業の位置づけ	この授業は、スポーツ健康科学部教育課程における3学科共通選択科目（一般教育科目）に位置付けられる。		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連			

履修上の注意、履修要件	<p>[履修要件] 特になし。</p> <p>[履修上の注意（科目独自のルール）] 法治国家では誰もが法的なものの考え方（legal mind）を求められ、それが全ての行動に反映することとなる。法思想を人間行動に必要な基本的思想として学び、理解してほしい。</p> <p>[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法] 課題提出後、次回の授業で解説等で示す。</p> <p>[テキスト・参考書等] テキストは指定しないが、六法（コンパクト版）の準備が必要。</p>
-------------	---

成績評価の方法

評価方法	<p>[成績評価の基準]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 法的なものの考え方（legal mind）の概要を理解できる。（レポート、定期試験）</li> <li>2. 代表的な法律の考え方について判例を通して理解したうえで、その問題点を説明できる。（レポート、定期試験）</li> <li>3. 法的なものの考え方（legal mind）について、自説を展開できる。（レポート、定期試験）</li> </ol> <p>[成績評価の方法] レポート（50%）及び定期試験（50%）を総合して評価する。</p>
------	---

評価基準	
------	--

試験・課題に対するフィードバック方法

--

テキスト

書名	著者	出版社	ISBN	備考

参考文献

--

その他				
連絡先・オフィスアワー	<p>【連絡先】            担当：池田良彦            E-mail：ysikeda [at] df.catv.ne.jp            ※ [at] を@に変更してください。</p> <p>【オフィスアワー】            日時：毎週火曜日の2時間目            場所：1号館2階 非常勤講師室</p>			
担当教員の実務経験				
備考	<p>【学修時間】            この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、90時間（授業時間30時間以上を含む）の学修を必要とする内容をもって構成する。</p> <p>【実務経験のある教員による授業】            該当しない。</p> <p>【その他】            新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p>			
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	池田良彦（以下同）	（授業内容） テーマ：法とは何か （授業方法） とても抽象的な概念である「法」の姿を解明する。		<p>【予習：3時間】            初めて法学を学ぶ人たちの法概念についてかんがえて欲しい。</p> <p>【復習：1時間】            授業内容を思い起こし、「法とは」について考える。</p>
2		（授業内容） テーマ：法と他の社会規範 （授業方法） 法と類似した社会規範としての倫理、道徳などとの関係を説明する。		<p>【予習：3時間】            道徳違反、倫理違反と法的責任との関係について理解をしてほしい。</p> <p>【復習：1時間】            資料をよく読んで法的責任との違いを理會する。</p>

3		<p>(授業内容)          テーマ：法的責任とは（民事責任）          (授業方法)          民事訴訟の代表的事例を検討する。</p>		<p>【予習：3時間】          民事責任の中心テーマは何かを考えて欲しい。          【復習：1時間】          事件の内容を理解し、民事事件の基本を学ぶ。</p>
4		<p>(授業内容)          テーマ：法的責任とは（刑事責任）          (授業方法)          刑事事件の代表的事例を通して検討する。</p>		<p>【予習：3時間】          刑事事件の成立要件について考える。          【復習：1時間】          事案の内容を把握して、刑事事件の本質を学ぶ。</p>
5		<p>(授業内容)          テーマ：法的責任とは（行政責任）          (授業方法)          行政事件の事例を検討する。</p>		<p>【予習：3時間】          行政責任と民事・刑事の違いを比較する。          【復習：1時間】          実例を通して行政責任の基本を理解する。</p>
6		<p>(授業内容)          テーマ：法的手続き（民事訴訟法）          (授業方法)          手続き法の違いを説明し、理解を深める。</p>		<p>【予習：3時間】          行政、刑事、民事のそれぞれの訴訟形態の違いを説明できるように調べること。          【復習：1時間】          訴訟法の原則を理解すること。</p>

7		<p>(授業内容)          テーマ： 法的手続き（刑事訴訟法）          (授業方法)          刑事訴訟、民事訴訟を比較して説明する。</p>	<p>【予習：3時間】          わが国には刑事と民事の裁判所があるがその違いを説明できるように。          【復習：1時間】          訴訟手続きの違いを理解する。</p>
8		<p>(授業内容)          テーマ： 法的手続き（少年法）          (授業方法)          少年事件の手続きについて説明する。</p>	<p>【予習：3時間】          少年法の改正に伴い少年事件の問題点をさぐる。          【復習：1時間】          少年事件の特長と今後の課題について</p>
9		<p>(授業内容)          テーマ： スポーツ事故における法的責任          (授業方法)          スポーツ事故の法的問題とは</p>	<p>【予習：3時間】          スポーツ事故とは何かを理解する。          【復習：1時間】          スポーツ事故の特徴を理解する。</p>
10		<p>(授業内容)          テーマ： 医療事故における刑事事件          (授業方法)          代表的な裁判を例に検討する。</p>	<p>【予習：3時間】          医療事故の刑事責任について何が問題かを調べる。          【復習：1時間】          具体的事例について検討する。」</p>

11		<p>(授業内容)          テーマ： 医療事故における民事事件          (授業方法)          代表的な民意事件を検討する。</p>		<p>【予習：3時間】          医療事故の民事責任の特長を調べる          こと。          【復習：1時間】          検討した事例を再度読み理解を深める。</p>
12		<p>(授業内容)          テーマ： 裁判制度（陪審制度）          (授業方法)          わが国の裁判員制度との違いを比較して説明する。</p>		<p>【予習：3時間】          裁判制度は何を問題点とするのかを見極          めること。          【復習1時間】          わが国の裁判員制度に問題点があるか考          える。</p>
13		<p>(授業内容)          テーマ： 裁判制度（参審制度）          (授業方法)          わが国は参審制度をモデルとして裁判員制度を導入したが、その問題          点を説明する。</p>		<p>【予習：3時間】          参審制度と陪審制度の違いを調べるこ          と。          【復習：1時間】          裁判員制度が導入されて10年ほどたつが、          この制度の評価について考えて欲しい。</p>

14		<p>(授業内容)          テーマ：まとめ</p> <p>(授業方法)          法学で学んだことについて疑問点があったら発言してほしい。</p>		<p>【予習：3時間】          法学の授業の中で疑問点があったならば発言してほしい。          【復習：5時間】          全14回の総復習。</p>
		<p>定期試験を実施する</p>		








--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	歴史学	授業形態	講義
英語科目名	History	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期	単位数	2単位
代表教員	松井 茂	ナンバリング	HIS1127
担当教員	松井 茂、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>[授業全体の内容]</p> <p>スポーツ健康科学を中心とする幅広い知識と教養を学ぶ一環として、この歴史学では人と社会及びその生活の歴史を多様な観点から学ぶ。また、世界には肌の色や言葉・風俗・習慣・宗教などの文化が異なる多様な人々が暮らす中、この授業では、様々な技術の発展によって、ヒト・モノ・カネ・情報などの国際化が急速に進む中で、日本の歴史的現在に対する理解を配布された小テストの解答を通してグループで話し合い、授業内で発表する。さらに授業外の学修では、配布された資料などをもとに日本と国際社会の様々な動きについて、重要なテーマを中心に個人及びグループとしてレポートにまとめ、提出する。</p>		
到達目標	<p>1 歴史の時代的・地域的な特色に注目し、その特色を論理的に説明できる。</p> <p>2 歴史的な諸問題を確かな資料に基づいて説明できる。</p>		
授業の位置づけ	この授業は、スポーツ健康科学部教育課程における3学科共通選択科目（一般教育科目）に位置付けられる。		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	この科目は、スポーツ健康科学部の学位授与方針に定める「スポーツ健康科学を中心とした幅広い知識と教養、及びそれらの活用能力」を身に付けることに寄与する。		

履修上の注意、履修要件	<p>[履修要件]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 配布された資料を含むテキスト等を必ず読み、事実とその解釈を含む読解力を高める姿勢を身に付けてもらいたい。</li> <li>2 コミュニケーション力を伸ばすためによく調べ、よく考え、適切に話し合い、定められた時間に発表するなど、積極的に授業に参加する意欲をもってもらいたい。</li> <li>3 1回の授業について3分2以上の出席時間がない場合は、その回の授業を欠席扱いにする。</li> <li>4 遅刻及び早退3回で、1回分の欠席としてカウントする。</li> </ol> <p>[履修上の注意（科目独自）のルール]</p> <p>授業開始に遅れないように入室し、私語を慎み、無断で教室の出入りをしないこと。また話し合いは他者に配慮し、発表は論点を絞り、時間と内容に注意して行うこと。</p> <p>[テキスト・参考書等]</p> <p>資料を含むテキスト等は毎回配布する。</p>
-------------	---

**成績評価の方法**

評価方法	<p>[ 成績評価の方法 ]</p> <p>課題レポート1回(30%)、定期試験(40%)、小テストを含む平常点(30%)を総合して評価する。</p>
------	---

評価基準	<p>[ 成績評価の基準 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 講義の内容と毎回配布する講義資料などを踏まえて、レポートでは与えられた課題を多様な観点から調査し説明できることが評価の基準になる。</li> <li>2 定期試験では毎回のテーマに沿った基本的な用語の理解度と各テーマの課題について、論点を整理し、資料をもとに論理的に説明できることが評価の基準になる。</li> <li>3 毎時間の小テストに示された課題を解くためにグループで話し合い、その解答を発表できることが評価の基準になる。</li> </ol>
------	--

**試験・課題に対するフィードバック方法**

<p>[試験・課題に対するフィードバック方法]</p> <p>各小テストの解答は、各時間の最後に確認する。またレポートの成績と定期試験の結果と解説は、採点後にJuntendo Passportなどに掲載し、質問は松井宛のメールで受け付ける。</p>
--

**テキスト**

書名	著者	出版社	ISBN	備考

**参考文献**

--

その他	
連絡先・オフィスアワー	<p>[連絡先]          担当: 松井茂          E-mail: krmatsuisg2005@yahoo.co.jp</p> <p>[オフィスアワー]          前期・後期ともに、月曜日2時限の前後約20分間。1号館2階非常勤講師室。</p>
担当教員の実務経験	<p>[実務経験のある教員による授業]          秀明中学校と高等学校などで教諭の業務に当たってきた経験から、生徒の学力を向上させる専門的な技術と共にいじめや不登校等に          対応してきた経験をもっている。第1回目の授業で扱う人種や民族の問題、また第2回目の授業で扱う日本の開国に伴う国際関係の問題          などでこれらの経験を生かしていきたい。</p>
備考	<p>[学修時間]          この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、90時間（授業30時間以上を含む）の学修を必要とする内容をもって構成す          る。</p> <p>[その他]          配布資料は、レポートの作成や定期試験の問題として使用するの、各自で保管するとともに、教育実習や試合等による欠席は、必          ず所定の届を提出すること。          なお、新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p>

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1 [授業内容] 「人類の起源と日本人の祖先」について理解を深める。	松井茂	[キーワード] 出アフリカ	<p>[授業方法]            「人類の起源と日本人の祖先」について解説する。また、配布されたテキストなどを見て、小テストの問題を解き発表する。さらに、なぜ人類はアフリカで誕生したといわれ、日本人とアフリカ人の肌の色はなぜ違うのかをグループで話し合い、発表する。</p>	<p>(予習:2時間)            サルと区別されるヒトとは何か、また人種によって肌の色がなぜ違うのか調べてくること。</p> <p>(復習:3時間)            日本人の祖先はどこから来たと考えられるかを確認すること。</p>
2 [授業内容] 「産業革命と欧米列強の極東進出」について理解を深める。	松井茂	[キーワード] アヘン戦争	<p>[授業方法]            「産業革命と欧米列強の極東進出」について解説する。また配布されたテキストを見て、小テストの問題を解き発表する。さらに自由貿易の開始は、尊王攘夷運動と順天堂の佐藤良順にどのような事態をもたらしたのかをグループで話し合い、発表する。</p>	<p>(予習:2時間)            なぜアメリカ合衆国が日本を開国させたのか調べてくること。</p> <p>(復習:3時間)            産業革命とアジアの植民地化について確認すること。</p>

<p>3〔授業内容〕 「自由貿易の開始と明治維新」について理解を深める。</p>	<p>松井茂</p>	<p>〔キーワード〕 薩長連合（同盟）</p>	<p>〔授業方法〕 「自由貿易の開始と明治維新」について解説する。また配布されたテキストを見て、問題を解き発表する。さらに、自由貿易の開始は尊王攘夷運動と順天堂の佐藤良順にどのような事態をもたらしたのかを話し合い、発表する。</p>	<p>(予習:2時間) 薩長連合の形成は、日本の植民地化防止と明治維新にどのような影響を与えたのか調べてくること。  (復習:3時間) なぜ佐倉藩に順天堂が誕生したのかを確認すること。</p>
<p>4〔授業内容〕 「日清戦後経営と日露戦争」について理解を深める。</p>	<p>松井茂</p>	<p>〔キーワード〕 バルチック艦隊</p>	<p>〔授業方法〕 「日清戦後経営と日露戦争」について解説する。また配布されたテキストを見て、小テストの問題を解き、さらに、李鴻章が書いた「妙手回春」の意味と日本海海戦の意義についてグループで話し合い、発表する。</p>	<p>(予習:2時間) 日清戦争と日露戦争は、日本に何をもたらしたのか調べてくること。  (復習:3時間) 日露戦争を経て、日本の産業革命が達成されたことを確認すること。</p>
<p>5〔授業内容〕 「大正デモクラシーと政党政治」について理解を深める。</p>	<p>松井茂</p>	<p>〔キーワード〕 スポーツ</p>	<p>〔授業方法〕 「大正デモクラシーと政党政治」について解説する。また配布されたテキストを見て、小テストの問題を解き、さらに、大正時代の大学出の給料と大衆消費社会におけるビジネスモデルについてグループで話し合い、発表する。</p>	<p>(予習:2時間) 日本が第一次世界大戦に勝利したことは、日本の政治・経済・文化に何をもたらしたのか調べてくること。  (復習:2時間) 第一次世界大戦中の好景気と戦争の勝利が日本の政党政治と国際的な地位の変化に及ぼした影響を確認すること。</p>
<p>6〔授業内容〕 「恐慌とアジア・太平洋戦争」について理解を深める。</p>	<p>松井茂</p>	<p>〔キーワード〕 真珠湾攻撃</p>	<p>〔授業方法〕 「恐慌とアジア・太平洋戦争」について解説する。また配布されたテキストを見て、小テストの問題を解き、さらに、なぜ世界恐慌が日本の農村に打撃をあたえたのか、また太平洋戦争中の南満州鉄道と新幹線との関係をグループで話し合い、発表する。</p>	<p>(予習:2時間) 世界恐慌がなぜ第二次世界大戦につながるのか調べてくること。  (復習:2時間) 世界恐慌から第二次世界大戦に至る時期の日本社会の変化を確認すること。</p>

<p>7〔授業内容〕 「原水爆と原子力の時代」について理解を深める。</p>	<p>松井茂</p>	<p>〔キーワード〕 ABC兵器</p>	<p>〔授業方法〕 「原水爆と原子力の時代」について解説する。また配布されたテキストを見て、小テストの問題を解き、さらに、原子力発電がエネルギー源として注目された理由とその問題点に加えて、核の抑止力についてグループで話し合い、発表する。</p>	<p>(予習:2時間) 巨費を投じて開発された大量破壊兵器である核兵器とエネルギー源としての原子力には各々どのような目的があるのか調べてくること。 (復習:2時間) 科学技術がもつ二面性について確認すること。</p>
<p>8〔授業内容〕 「飢餓と飽食の時代」について理解を深める。</p>	<p>松井茂</p>	<p>〔キーワード〕 肥満</p>	<p>〔授業方法〕 「飢餓と飽食の時代」について解説する。また配布されたテキストを見て、小テストの問題を解き、さらに、飢餓と難民の問題に加えて肥満とやせがもたらす社会的な問題をグループで話し合い、発表する。</p>	<p>(予習:2時間) 肥満や飢餓はなぜ社会的な問題になるのか調べてくること。 (復習:2時間) 肥満や飢餓の社会的な問題点と対策を確認すること。</p>
<p>9〔授業内容〕 「エネルギー革命による繁栄と環境問題」について理解を深める。</p>	<p>松井茂</p>	<p>〔キーワード〕 地球温暖化</p>	<p>〔授業方法〕 「エネルギー革命による繁栄と環境問題」について解説する。また配布されたテキストを見て、小テストの問題を解き発表する。さらに、なぜ地球温暖化が問題になるのか、また中国が温暖化防止に積極的になる世界的な意義などをグループで話し合い、発表する。</p>	<p>(予習:2時間) エネルギー革命と地球温暖化の影響防止を目的とするパリ協定の内容を調べてくること。 (復習:2時間) 化石燃料が人々の生活に与える影響と持続可能なエネルギーの現状を確認すること。</p>
<p>10〔授業内容〕 「企業社会の発展と暮らしの変化」について理解を深める。</p>	<p>松井茂</p>	<p>〔キーワード〕 格差</p>	<p>〔授業方法〕 「企業社会の発展と暮らしの変化」について解説する。また配布されたテキストを見て、小テストの問題を解き、高度成長期に人々はなぜ豊かさを感じたのか、また団塊の世代はなぜ太平洋ベルト地帯に集まったのかをグループで話し合い、発表する。</p>	<p>(予習:2時間) 日本の高度経済成長期に発展した企業活動と人々の働き方について調べてくること。 (復習:2時間) 社会の変化と男女の働き方の変化を確認すること。</p>

<p>11〔授業内容〕 「都市の発達と若者文化」について理解を深める。</p>	<p>松井茂</p>	<p>〔キーワード〕 Z世代</p>	<p>〔授業方法〕 「都市の発達と若者文化」について解説する。また配布されたテキストを見て、小テストの問題を解き、さらに、若者はなぜ都市に集まる傾向があるのか、グループで話し合い、発表する。</p>	<p>(予習:2時間) 日本の都市化の現状と若者文化の特色を調べてくること。  (復習:2時間) 第二次世界大戦後の若者文化の変化とその特色を確認すること。</p>
<p>12〔授業内容〕 「知的財産の時代」について理解を深める。</p>	<p>松井茂</p>	<p>〔キーワード〕 デジタル社会</p>	<p>〔授業方法〕 「知財立国の時代」について解説する。また配布されたテキストを見て、小テストの問題を解き、さらに、自然資源の乏しい戦後の日本が豊かになった要因と知的財産と教育の関係をグループで話し合い、発表する。</p>	<p>(予習:2時間) 世界の貿易を含む経済活動で重視される知的財産の特色とこれがもたらす富について調べてくること。  (復習:2時間) 莫大な富をもたらす知的財産の内容を確認すること。</p>
<p>13〔授業内容〕 「少子高齢社会」について理解を深める。</p>	<p>松井茂</p>	<p>〔キーワード〕 政令指定都市規模の人口消滅</p>	<p>〔授業方法〕 「少子高齢社会」について解説する。また配布されたテキストを見て、小テストの問題を解き、さらに、少子高齢化がなぜ進んでいるのか、その影響は生産と教育にどのように現れるのかをグループで話し合い、発表する。</p>	<p>(予習:2時間) 少子化と高齢化の何が問題になるのか調べてくること。  (復習:2時間) 日本の少子化と高齢化の現状と問題点を確認すること。</p>

<p>14〔授業内容〕 「交通革命と車社会」について理解を深める。</p>	<p>松井茂</p>	<p>〔キーワード〕 レベル4のEV車</p>	<p>〔授業方法〕 「交通革命と車社会」について解説する。また配布されたテキストを見て、小テストの問題を解き、さらに、車の自動運転と電気自動車の開発・普及が求められる理由についてグループで話し合い、発表する。</p>	<p>(予習:2時間) 自家用車の普及が人々の生活と日本経済にどのような影響を与えているのか調べてくること。  (復習:2時間) 電気自動車と自動運転車両などの開発が新たな産業の展開と雇用、そして地球温暖化防止にどのような影響を及ぼしているのか確認すること。</p>
		<p>定期試験</p>		








--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	日本文学	授業形態	講義
英語科目名	Literature	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期	単位数	2単位
代表教員	加藤 由紀子	ナンバリング	LIT1128
担当教員	加藤 由紀子、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>文学作品を通して人間の生き方や考え方を知り、人間についてより深く理解する。日本語及び日本文学に対する知識と理解を深める。古典文学から近代文学まで幅広く親しむ態度を身につける。</p> <p>この授業では、日本語及び日本文学について学ぶ。万葉集を通して、日本語についての知識を深め、歌の背景にある歴史や社会について学び、作者の考え方や生き方について授業内で意見を交換する。芥川龍之介の小説を読み、登場人物の生き方について授業内で意見を交換する。</p>		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 日本語の特色について理解し、日本語表記の歴史について説明することができる。</li> <li>2. 万葉集を通して、歌謡から和歌への流れを理解し、前期万葉と後期万葉の違いについて説明することができる。</li> <li>3. 歌の背景にある古代日本の社会や歴史を知り、万葉集の時代と和歌との関わりについて説明することができる。</li> <li>4. 万葉集の和歌から作者の思いを読み取り、古代日本の人びとの考え方や生き方について理解し、そこからわかった人間の生き方について説明することができる。</li> <li>5. 小説を読んで、登場人物の行動、言動、描写などを分析し、登場人物の心理を読み取り説明することができる。</li> <li>6. 原典との比較を通して、作者の創作について説明することができる。</li> <li>7. 作者の人生について知り、作品を通して人間の生き方についてより深く理解し、そこからわかった人間の生き方について説明することができる。</li> </ol>		
授業の位置づけ	この授業は、スポーツ健康科学部教育課程における3学科共通選択科目（一般教育科目）に位置付けられる。		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	この科目は、スポーツ健康科学部の学位授与方針に定める「スポーツ健康科学を中心とした幅広い知識と教養、及びそれらの活用能力」を身に付ける。		

履修上の注意、履修要件	<p>[履修上の注意] 特になし</p> <p>[履修要件] 特になし</p>
-------------	---

成績評価の方法

評価方法	課題レポート2回（40％）、定期試験（40％）、平常点（20％）を総合して評価する。
------	--

評価基準	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 日本語や日本語表記の歴史について説明することができる（定期試験）</li> <li>2. 万葉集を通して、和歌の流れや、歴史・社会と和歌との関わりについて説明することができる（定期試験）</li> <li>3. 芥川龍之介の作品を読んで、登場人物の心理を読み取り説明することができる（定期試験）</li> <li>4. 原典との比較を通して、作者の創作について説明することができる（定期試験）</li> <li>5. 授業でとりあげた作品や作者を通してわかった人間の生き方について説明し、それに対する自分の考えを文章にまとめることができる（レポート）</li> <li>6. 授業に対する取り組み及び毎時間の課題コメントで評価する（平常点）</li> </ol>
------	---

試験・課題に対するフィードバック方法

毎時間の課題コメントは次の授業時にフィードバックを行う。  
課題レポート及び試験については、評価のポイントを提示する。

テキスト

書名	著者	出版社	ISBN	備考
地獄変・偷盗	芥川龍之介	新潮文庫	978-4-10-102502-5	平成23年10月改版以降のもの

参考文献

その他の教材についてはその都度コピーを配布する。  
授業内でテキストとして使用し、授業のまとめやレポート作成の際に参考となる。

その他	
連絡先・オフィスアワー	<p>[連絡先] 授業内で知らせます。</p> <p>[オフィスアワー] 授業時間の後に控室で。</p>
担当教員の実務経験	
備考	<p>[学修時間] この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業30時間と準備学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。</p> <p>[その他] 新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p>

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	加藤	日本語表記の歴史について解説する。奈良時代の文学について解説する。万葉集について紹介する。	プリントと板書を用いて講義を進める。コメントシートを提出する。	<p>(予習：1時間) あらかじめシラバスを読んで授業全体を把握しておくこと。</p> <p>(復習：2時間) 日本語表記の歴史や奈良時代の文学、万葉集について、整理しておくこと。</p>
2	加藤	万葉集の全体像を紹介する。万葉集の時代について解説する。万葉仮名について解説する。	ビデオとプリントを用いて講義を進める。コメントシートを提出する。	<p>(予習：1時間) 万葉集について授業プリントを読んでおくこと。</p> <p>(復習：2時間) 万葉仮名について整理しておくこと。万葉集について講義で学習したことを整理しておくこと。</p>

3	加藤	萌芽時代から万葉第一期の時代背景と歌について解説する。	プリントを用いて講義を進める。コメントシートを提出する。	<p>(予習：1時間) 万葉集の時期区分について、授業プリントの解説を読んで理解を深めておくこと。</p> <p>(復習：2時間) 萌芽時代と万葉第一期の時代について整理しておくこと。 授業で取り扱った歌について理解を深めておくこと。</p>
4	加藤	万葉第二期の時代背景と歌について解説する。	プリントを用いて講義を進める。コメントシートを提出する。	<p>(予習：1時間) 万葉第二期の時代について、授業プリントの解説を読んで理解を深めておくこと。</p> <p>(復習：2時間) 万葉第二期の時代について整理しておくこと。 授業で取り扱った歌について理解を深めておくこと。</p>
5	加藤	万葉第三期の時代背景と歌について解説する。	プリントを用いて講義を進める。コメントシートを提出する。	<p>(予習：1時間) 万葉第三期の時代について、授業プリントの解説を読んで理解を深めておくこと。</p> <p>(復習：2時間) 万葉第三期の時代について整理しておくこと。 授業で取り扱った歌について理解を深めておくこと。</p>
6	加藤	万葉第四期の時代背景と歌について解説する。	プリントを用いて講義を進める。コメントシートを提出する。	<p>(予習：1時間) 万葉第四期の時代について、授業プリントの解説を読んで理解を深めておくこと。</p> <p>(復習：2時間) 万葉第四期の時代について整理しておくこと。 授業で取り扱った歌について理解を深めておくこと。</p>

7	加藤	万葉集についてまとめの解説をする。歌謡から和歌への流れや前期万葉と後期万葉の違いについて解説する。歌から作者の思いを読み取り、考え方や生き方について考える。	プリントを用いて講義を進める。歌からわかった人間の生き方について話し合う。コメントシートを提出する。	<p>(予習：2時間) 前回までの授業について整理しておくこと。万葉集の歌からわかった人間の生き方についてまとめておくこと。</p> <p>(復習：4時間) 万葉集の歌からわかった人間の生き方についてレポート課題を作成しておくこと。</p>
8	加藤	作者について紹介する。小説の手法について解説する。第一段落、第二段階の内容について解説する。	プリントとテキストを用いて講義を進める。コメントシートを提出する。	<p>(予習：4時間) 授業プリントを読んで理解を深めておくこと。テキストの『偷盗』を読んで内容を把握しておくこと。</p> <p>(復習：2時間) 小説の書き出し、登場人物の描写などについて整理しておくこと。</p>
9	加藤	第三段落、第四段落の内容について解説する。登場人物の述懐について考える。	テキストを用いて講義を進める。登場人物の述懐について話し合う。コメントシートを提出する。	<p>(予習：1時間) テキストの『偷盗』（第三、四段落）を読んで理解を深めておくこと。</p> <p>(復習：2時間) 登場人物の心理について整理しておくこと。</p>
10	加藤	第五段落、第六段落の内容について解説する。登場人物の問答について考える。	テキストを用いて講義を進める。登場人物の問答について考える。コメントシートを提出する。	<p>(予習：1時間) テキストの『偷盗』（第五、六段落）を読んで理解を深めておくこと。</p> <p>(復習：2時間) 登場人物の心理について整理しておくこと。</p>

11	加藤	第七段落の内容について解説する。この段落から問題を提起する。	<p>テキストを用いて講義を進める。提起された問題について話し合う。コメントシートを提出する。</p>	<p>(予習：1時間) テキストの『偷盗』（第七段落）を読んで理解を深めておくこと。</p> <p>(復習：2時間) 授業で取り上げた問題点について整理しておくこと。 登場人物の心理について整理しておくこと。</p>
12	加藤	第八段落、第九段落の内容について解説する。この段落から問題を提起する。	<p>テキストを用いて講義を進める。提起された問題について話し合う。コメントシートを提出する。</p>	<p>(予習：2時間) テキストの『偷盗』（第八、九段落）を読んで理解を深めておくこと。 全体を通して問題点を整理しておくこと。</p> <p>[復習：4時間] 作品を通してわかった人間の生き方についてレポート課題を作成しておくこと。</p>
13	加藤	『往生絵巻』の内容について解説する。場面ごとの登場人物の役割について解説する。主人公の生き方について考える。	<p>テキストとプリントを用いて講義を進める。役割分担をして読む。主人公の生き方について話し合う。コメントシートを提出する。</p>	<p>(予習：1時間) テキストの『往生絵巻』を読んで理解を深めておくこと。</p> <p>(復習：2時間) 場面ごとの登場人物の役割を整理しておくこと。</p>

14	加藤	『今昔物語』の原話の内容について解説する。『往生絵巻』と原話との相違点について考える。芥川龍之介についてまとめの解説をする。	素材と創作について話し合う。これまで授業で取り上げた問題や課題について話し合う。コメントシートを提出する。	<p>(予習：2時間) 授業プリントの『今昔物語』の原話を読んで理解を深めておくこと。</p> <p>(復習：10時間) 芥川龍之介の創作について自分の考えをまとめておくこと。 『往生絵巻』の主人公の生き方について自分の考えをまとめておくこと。 1～14の講義内容について整理しておくこと。 課題レポート2題を仕上げること。</p>
		定期試験		








--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	日本文学	授業形態	講義
英語科目名	Literature	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期	単位数	2単位
代表教員	加藤 由紀子	ナンバリング	LIT1128
担当教員	加藤 由紀子、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>文学作品を通して人間の生き方や考え方を知り、人間についてより深く理解する。日本語及び日本文学に対する知識と理解を深める。古典文学から近代文学まで幅広く親しむ態度を身につける。</p> <p>この授業では、日本語及び日本文学について学ぶ。万葉集を通して、日本語についての知識を深め、歌の背景にある歴史や社会について学び、作者の考え方や生き方について授業内で意見を交換する。芥川龍之介の小説を読み、登場人物の生き方について授業内で意見を交換する。</p>		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 日本語の特色について理解し、日本語表記の歴史について説明することができる。</li> <li>2. 万葉集を通して、歌謡から和歌への流れを理解し、前期万葉と後期万葉の違いについて説明することができる。</li> <li>3. 歌の背景にある古代日本の社会や歴史を知り、万葉集の時代と和歌との関わりについて説明することができる。</li> <li>4. 万葉集の和歌から作者の思いを読み取り、古代日本の人びとの考え方や生き方について理解し、そこからわかった人間の生き方について説明することができる。</li> <li>5. 小説を読んで、登場人物の行動、言動、描写などを分析し、登場人物の心理を読み取り説明することができる。</li> <li>6. 原典との比較を通して、作者の創作について説明することができる。</li> <li>7. 作者の人生について知り、作品を通して人間の生き方についてより深く理解し、そこからわかった人間の生き方について説明することができる。</li> </ol>		
授業の位置づけ	この授業は、スポーツ健康科学部教育課程における3学科共通選択科目（一般教育科目）に位置付けられる。		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	この科目は、スポーツ健康科学部の学位授与方針に定める「スポーツ健康科学を中心とした幅広い知識と教養、及びそれらの活用能力」を身に付ける。		

履修上の注意、履修要件	<p>[履修上の注意] 特になし</p> <p>[履修要件] 特になし</p>
-------------	---

**成績評価の方法**

評価方法	課題レポート2回（40％）、定期試験（40％）、平常点（20％）を総合して評価する。
------	--

評価基準	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 日本語や日本語表記の歴史について説明することができる（定期試験）</li> <li>2. 万葉集を通して、和歌の流れや、歴史・社会と和歌との関わりについて説明することができる（定期試験）</li> <li>3. 芥川龍之介の作品を読んで、登場人物の心理を読み取り説明することができる（定期試験）</li> <li>4. 原典との比較を通して、作者の創作について説明することができる（定期試験）</li> <li>5. 授業でとりあげた作品や作者を通してわかった人間の生き方について説明し、それに対する自分の考えを文章にまとめることができる（レポート）</li> <li>6. 授業に対する取り組み及び毎時間の課題コメントで評価する（平常点）</li> </ol>
------	---

**試験・課題に対するフィードバック方法**

毎時間の課題コメントは次の授業時にフィードバックを行う。  
課題レポート及び試験については、評価のポイントを提示する。

**テキスト**

書名	著者	出版社	ISBN	備考
地獄変・偷盗	芥川龍之介	新潮文庫	978-4-10-102502-5	平成23年10月改版以降のもの

**参考文献**

その他の教材についてはその都度コピーを配布する。  
授業内でテキストとして使用し、授業のまとめやレポート作成の際に参考となる。

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
その他				
連絡先・オフィスアワー	<p>[連絡先] 授業内で知らせます。</p> <p>[オフィスアワー] 授業時間の後に控室で。</p>			
担当教員の実務経験				
備考	<p>[学修時間] この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業30時間と準備学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。</p> <p>[その他] 新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p>			
1	加藤	日本語表記の歴史について解説する。奈良時代の文学について解説する。万葉集について紹介する。	プリントと板書を用いて講義を進める。コメントシートを提出する。	<p>(予習：1時間) あらかじめシラバスを読んで授業全体を把握しておくこと。</p> <p>(復習：2時間) 日本語表記の歴史や奈良時代の文学、万葉集について、整理しておくこと。</p>
2	加藤	万葉集の全体像を紹介する。万葉集の時代について解説する。万葉仮名について解説する。	ビデオとプリントを用いて講義を進める。コメントシートを提出する。	<p>(予習：1時間) 万葉集について授業プリントを読んでおくこと。</p> <p>(復習：2時間) 万葉仮名について整理しておくこと。万葉集について講義で学習したことを整理しておくこと。</p>

3	加藤	萌芽時代から万葉第一期の時代背景と歌について解説する。	プリントを用いて講義を進める。コメントシートを提出する。	<p>(予習：1時間) 万葉集の時期区分について、授業プリントの解説を読んで理解を深めておくこと。</p> <p>(復習：2時間) 萌芽時代と万葉第一期の時代について整理しておくこと。 授業で取り扱った歌について理解を深めておくこと。</p>
4	加藤	万葉第二期の時代背景と歌について解説する。	プリントを用いて講義を進める。コメントシートを提出する。	<p>(予習：1時間) 万葉第二期の時代について、授業プリントの解説を読んで理解を深めておくこと。</p> <p>(復習：2時間) 万葉第二期の時代について整理しておくこと。 授業で取り扱った歌について理解を深めておくこと。</p>
5	加藤	万葉第三期の時代背景と歌について解説する。	プリントを用いて講義を進める。コメントシートを提出する。	<p>(予習：1時間) 万葉第三期の時代について、授業プリントの解説を読んで理解を深めておくこと。</p> <p>(復習：2時間) 万葉第三期の時代について整理しておくこと。 授業で取り扱った歌について理解を深めておくこと。</p>
6	加藤	万葉第四期の時代背景と歌について解説する。	プリントを用いて講義を進める。コメントシートを提出する。	<p>(予習：1時間) 万葉第四期の時代について、授業プリントの解説を読んで理解を深めておくこと。</p> <p>(復習：2時間) 万葉第四期の時代について整理しておくこと。 授業で取り扱った歌について理解を深めておくこと。</p>

7	加藤	万葉集についてまとめの解説をする。歌謡から和歌への流れや前期万葉と後期万葉の違いについて解説する。歌から作者の思いを読み取り、考え方や生き方について考える。	プリントを用いて講義を進める。歌からわかった人間の生き方について話し合う。コメントシートを提出する。	<p>(予習：2時間) 前回までの授業について整理しておくこと。万葉集の歌からわかった人間の生き方についてまとめておくこと。</p> <p>(復習：4時間) 万葉集の歌からわかった人間の生き方についてレポート課題を作成しておくこと。</p>
8	加藤	作者について紹介する。小説の手法について解説する。第一段落、第二段階の内容について解説する。	プリントとテキストを用いて講義を進める。コメントシートを提出する。	<p>(予習：4時間) 授業プリントを読んで理解を深めておくこと。テキストの『偷盗』を読んで内容を把握しておくこと。</p> <p>(復習：2時間) 小説の書き出し、登場人物の描写などについて整理しておくこと。</p>
9	加藤	第三段落、第四段落の内容について解説する。登場人物の述懐について考える。	テキストを用いて講義を進める。登場人物の述懐について話し合う。コメントシートを提出する。	<p>(予習：1時間) テキストの『偷盗』（第三、四段落）を読んで理解を深めておくこと。</p> <p>(復習：2時間) 登場人物の心理について整理しておくこと。</p>
10	加藤	第五段落、第六段落の内容について解説する。登場人物の問答について考える。	テキストを用いて講義を進める。登場人物の問答について考える。コメントシートを提出する。	<p>(予習：1時間) テキストの『偷盗』（第五、六段落）を読んで理解を深めておくこと。</p> <p>(復習：2時間) 登場人物の心理について整理しておくこと。</p>

11	加藤	第七段落の内容について解説する。この段落から問題を提起する。	<p>テキストを用いて講義を進める。提起された問題について話し合う。コメントシートを提出する。</p>	<p>(予習：1時間) テキストの『偷盗』（第七段落）を読んで理解を深めておくこと。</p> <p>(復習：2時間) 授業で取り上げた問題点について整理しておくこと。 登場人物の心理について整理しておくこと。</p>
12	加藤	第八段落、第九段落の内容について解説する。この段落から問題を提起する。	<p>テキストを用いて講義を進める。提起された問題について話し合う。コメントシートを提出する。</p>	<p>(予習：2時間) テキストの『偷盗』（第八、九段落）を読んで理解を深めておくこと。 全体を通して問題点を整理しておくこと。</p> <p>[復習：4時間] 作品を通してわかった人間の生き方についてレポート課題を作成しておくこと。</p>
13	加藤	『往生絵巻』の内容について解説する。場面ごとの登場人物の役割について解説する。主人公の生き方について考える。	<p>テキストとプリントを用いて講義を進める。役割分担をして読む。主人公の生き方について話し合う。コメントシートを提出する。</p>	<p>(予習：1時間) テキストの『往生絵巻』を読んで理解を深めておくこと。</p> <p>(復習：2時間) 場面ごとの登場人物の役割を整理しておくこと。</p>

14	加藤	『今昔物語』の原話の内容について解説する。『往生絵巻』と原話との相違点について考える。芥川龍之介についてまとめの解説をする。	素材と創作について話し合う。これまで授業で取り上げた問題や課題について話し合う。コメントシートを提出する。	<p>(予習：2時間) 授業プリントの『今昔物語』の原話を読んで理解を深めておくこと。</p> <p>(復習：10時間) 芥川龍之介の創作について自分の考えをまとめておくこと。 『往生絵巻』の主人公の生き方について自分の考えをまとめておくこと。 1～14の講義内容について整理しておくこと。 課題レポート2題を仕上げること。</p>
		定期試験		








--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	日本国憲法	授業形態	講義
英語科目名	The Constitution of Japan	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期	単位数	2単位
代表教員	池田 良彦	ナンバリング	LAW1124
担当教員	池田 良彦、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>[授業全体の内容]  憲法を学ぶ意義は、主権者である国民が政治のあり方を最終的に決定する力をもっていることにある。憲法は、国家の基本法であり、国の制度や国の運営の方法について定められたもので、主権者である国民はこの憲法についての基本的な知識をもつことが必須条件である。2016年から選挙権年齢が18歳以上となり、大学生の皆さんは政治に関心を持つことが必要不可欠となった。この授業では103カ条から成る日本国憲法の基本的な考え方を習得し、憲法問題に関心を示していただくことを念頭に進める。</p> <p>[授業の位置づけ（学位授与方針に定められている知識・能力等との関連）]  この科目は「スポーツ健康科学を中心とした幅広い知識および教養」を身につけることを目的とする。</p> <p>[授業の到達目標]  1. 憲法をめぐる問題について、その主要なテーマを理解できる。  2. 憲法をめぐる問題について、その主要な問題点を説明できる。  3. 憲法をめぐる問題について、自説を展開することができる。</p>		
到達目標			
授業の位置づけ	この授業は、スポーツ健康科学部教育課程における3学科共通選択必修科目（一般教育科目・人文社会科学）に位置付けられる。また、中高保体1種免許（必修）、養護教諭免許（必修）の指定科目である。		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連			

履修上の注意、履修要件	<p>[履修要件] 特になし。</p> <p>[履修上の注意（科目独自のルール）] 教職免許証取得の必修科目なので、教員志望者は必ず履修すること。また、憲法が定めている人権問題については、特に理解を深めて欲しい。</p> <p>[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法] レポート提出日の次の授業の時に解説する。</p> <p>[テキスト・参考書等] テキストはとくに指定しないが、憲法の条文は準備すること。（六法を購入する必要はないが、憲法の条文は必要。）</p>
-------------	--

**成績評価の方法**

評価方法	<p>[成績評価の基準]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 憲法をめぐる問題について、その主要なテーマを理解できる。（レポート、定期試験）</li> <li>2. 憲法をめぐる問題について、その主要な問題点を説明できる。（レポート、定期試験）</li> <li>3. 憲法をめぐる問題について、自説を展開することができる。（レポート、定期試験）</li> </ol> <p>[成績評価の方法] レポート（50%）及び定期試験（50%）を総合して評価する。</p>
------	--

評価基準	
------	--

**試験・課題に対するフィードバック方法**

--	--

**テキスト**

書名	著者	出版社	ISBN	備考

**参考文献**

--	--

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
その他				
連絡先・オフィスアワー	<p>[連絡先] 担当：池田良彦 E-mail：ysikeda [at] df.catv.ne.jp ※ [at] を@に変更してください。</p> <p>[オフィスアワー] 日時：毎週月曜日の2時間目の時間 場所：講師室の部屋</p>			
担当教員の実務経験				
備考	<p>[学修時間] この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、90時間（授業時間30時間以上を含む）の学修を必要とする内容をもって構成する。</p> <p>[実務経験のある教員による授業] 該当しない。</p> <p>[その他] この授業科目は、教職免許状の取得に必要な科目のうち、「その他の科目（教育職員免許法施行規則第66条6に定める科目）」における必修科目（日本国憲法）として位置づけられている。 新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p>			
1	池田良彦（以下同）	<p>(授業内容) テーマ：日本国憲法制定の過程を説明する。</p> <p>(授業方法) 大日本帝国憲法と日本国憲法との違いを比較し、講義を進める。</p>		<p>【予習：3時間】 1945年（昭和20年）8月15日の終戦が日本史の上でどのような状況にあったのかを高校時代の日本史の教科書で確認しておくこと。 【復習：1時間】 配布資料をよく読むこと。</p>
2		<p>(授業内容) テーマ：天皇制について。</p> <p>(授業方法) 「皇室典範」により天皇制が法的に位置づけられているが、今後の天皇制についての問題点を考える。</p>		<p>【予習：3時間】 天皇の退位問題が話題となっているが、現行法上ではどのように考えられているのか調べておくこと。 【復習：1時間】 配布資料をよく読むこと。</p>

3		<p>(授業内容)          テーマ：日本国憲法9条の戦争放棄条項について。</p> <p>(授業方法)          わが国の政府は、9条に関する見解を日米安保条約との関係で解釈を変更してきたが、その主旨を説明し問題点を考える。</p>		<p>【予習：3時間】          憲法9条問題を理解するためには、日米安保条約についての理解が必須であり、条約の趣旨をりかいておくこと。</p> <p>【復習：1時間】          配布資料をよく読んで、憲法と条約の関係を理解すること。</p>
4		<p>(授業内容)          テーマ：憲法9条に関する司法解釈について。</p> <p>授業方法)          、最高裁の砂川判決を資料として使い説明する。</p>		<p>【予習：3時間】          憲法問題は、政治的判断と、憲法上の法解釈とが異なることがあり、その違いを調べて理解しておく必要がある。</p> <p>【復習：1時間】          配布資料を熟読し、政治的判断と法的判断との違いを理解すること。</p>
5		<p>(授業内容)          テーマ：基本的人権の基礎を学ぶ。</p> <p>(授業方法)          基本的人権は自由権から始まり、生存権へと発展していくがその基本的な考え方の違いについて理解する。</p> <p>(授業方法)          人権の歴史を紹介する。</p>		<p>【予習：3時間】          人権の歴史は古く、1215年のイギリスのマグナカルタにはじまり、以降1776年のアメリカの独立宣言、1789年のフランス革命があり、その歴史的な背景を理解しておくこと。</p> <p>【復習：1時間】          配布資料をよく読んで人権のルーツを理解する。</p>
6		<p>(授業内容)          テーマ：三権分立の意義</p> <p>(授業方法)          民主主義の根幹である国の制度のあり方について学ぶ。</p>		<p>【予習：3時間】          モンテスキューの「法の精神」によって三権分立が説かれたのでその考え方を調べてほしい。</p> <p>【復習：1時間】          配布資料を熟読して理解を深めて欲しい。</p>

7		<p>(授業内容)          テーマ： 憲法13条の「個人の尊重」について          (授業方法)          プライバシーの権利は、一世紀前の時代から、現在の権利に至るまでの歴史画あり、その発展過程を理解してほしい。</p>		<p>【予習：3時間】          個人の尊重はプライバシーの権利としてアメリカで発展してきた権利であり、この権利について調べて理解してほしい。          【復習：1時間】          配布資料を読んで理解してほしい。</p>
8		<p>(授業内容)          テーマ：憲法14条の「法の下での平等」について          (授業方法)          人種差別問題をはじめ、今日では平等概念が広く主張されるようになったのでその情報を提供する。</p>		<p>【予習：3時間】          平等概念はアメリカで発展してきた権利であり、新しい平等概念についても理解を深めて欲しい。          【復習：1時間】          平等問題は広く議論されているので、資料を読んで理解を深めて欲しい。</p>
9		<p>(授業内容)          テーマ： 思想、良心の自由、表現の自由          (授業方法)          表現の自由をはじめ、人間には生まれながらにして自由が付与されていることを理解する必要があることを説明する。</p>		<p>【予習：3時間】          思想や表現の自由は、人間に与えられた基本権であり、国家によって制限されるものではないが、世界には表現の自由が厳しく制限されている国家があり、そのような事情を調べて欲しい。          【復習：1時間】          配布資料をよく読んでほしい。</p>
10		<p>(授業内容)          テーマ：刑事被告人の権利について          (授業方法)          わが国の司法制度について説明をする。</p>		<p>【予習：3時間】          裁判における被告人の権利について調べて欲しい。          【復習：1時間】          資料を熟読して司法制度の理解を深めて欲しい。</p>

11		<p>(授業内容)          テーマ：市民参加型の刑事裁判について          (授業方法)          世界の裁判制度について、陪審制（英米）、参審制（ヨーロッパ大陸）を比較して説明する。</p>		<p>【予習：3時間】          裁判員制度の導入により国民が裁判に関心を持つ機会が多くなったがその問題点を調べてほしい。          【復習：1時間】          配布資料を読んで理解を求めろ。</p>
12		<p>(授業内容)          テーマ：立法権、行政権について          (授業方法)          立法権、行政権に関わる国民の立場から、どのような参加ができるのか語りたい。</p>		<p>【予習：3時間】          国民の権利および義務の中心は、主権者として政治にどのようにかかわるのが重要であり、この問題について積極的に意見を求めたい。          【復習：1時間】</p>
13		<p>(授業内容)          テーマ：憲法改正手続きについて          (授業方法)          現行憲法には、改正に関する手続きが明確に示されていない。今後でてくる議論であるので、学生の皆さんにも積極的に考えて欲しい。</p>		<p>【予習：3時間】          わが国では憲法改正論議が盛んであるが、一国民としてこの問題をどのように考えるかを問いたい。          【復習：1時間】          憲法改正について、あなたはどのように考えるかを議論してほしい。</p>

14		<p>(授業内容)          テーマ：憲法論のまとめ          (授業方法)          これまで扱ったテーマについて質疑を受ける。</p>		<p>【予習：3時間】          これまで扱ったテーマについて、憲法論として纏め、質問があったら申し出ること。          【復習：5時間】</p>
		<p>定期試験</p>		








--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	音楽	授業形態	講義
英語科目名	Music	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期	単位数	2単位
代表教員	寺島 慶子	ナンバリング	ART1130
担当教員	寺島 慶子、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>[授業全体の内容]</p> <p>世界の共通語とも言えることができる音楽、その一般的な知識を西洋音楽史を通じて学ぶ事により、日常生活の中に溢れる音楽のルーツを知り、理解を深める事により、このグローバルな時代に世界の人達とのコミュニケーションの手段の一つとして役立てて欲しい。また、クラシック音楽をより身近に感じ、鑑賞力を高め、音楽が心にどの様に作用するか学ぶ。</p>		
到達目標	<p>[授業の到達目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 音楽の3要素が言える</li> <li>2. 音楽の誕生から現代までの音楽の変遷について説明できる</li> <li>3. 音楽を聴く耳を作る</li> <li>4. 音楽が心に与える作用について説明できる</li> </ol>		
授業の位置づけ	この授業は、スポーツ健康科学部教育課程における3学科共通選択科目（一般教育科目）に位置付けられる。		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. グローバル化が進む社会における人間とその社会的、文化的な営みを包括的に理解するため、音楽に関わる広範な知識を習得し、それらを統合し、活用する能力</li> <li>2. 「自分とは異なる人間や文化を理解する心を滋養し、多様性を尊重し、寛容さを持って相互交流を図ることのできる能力</li> <li>3. 音楽を用いたコミュニケーション能力を駆使し、多様な人々と繋がり、自らの考えを説明し、相互の関係を築く能力</li> <li>4. スポーツ健康科学の分野で活躍できる専門性を備え、問題を発見し解決策を探る多面的かつ柔軟な思考力と行動力</li> </ol>		

履修上の注意、履修要件	<p>[履修要件] 特になし</p> <p>[履修上の注意（科目独自のルール）] 1回の授業について、3分の2以上の出席時間がない場合は、その回の授業を欠席扱いとする。</p> <p>[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法] 課題レポートは翌週の授業で解説する。また定期試験については要望があれば個別に解説や指導を行う。</p> <p>[テキスト・参考書等] 授業に則したプリントを配布する。 参考書 初めての音楽史（音楽之友社）</p>
-------------	---

成績評価の方法

評価方法	<p>[成績評価の方法] 授業に取り組む姿勢（平常点）（10%）、授業内レポート（20%）、定期試験（70%）を総合して評価する。</p>
------	---

評価基準	<p>[成績評価の基準]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 音楽の三要素が理解できている。</li> <li>2. 音楽の誕生から現代までの音楽の変遷について説明できる。</li> <li>3. 音楽を聴く耳を作る。（流れている音楽がいつの時代に作曲されたものか聞き分ける事が出来る）</li> <li>4. 音楽が心に与える作用について説明できる。（音楽療法）</li> </ol>
------	---

試験・課題に対するフィードバック方法

定期試験においてはj-passを使って解説する。課題については授業内で都度解説。  
質問、及び、その他の問い合わせは授業後及びメールにて受け付けます。  
メールアドレス pfkeiko@kdp.biglobe.ne.jp

テキスト

書名	著者	出版社	ISBN	備考

参考文献

--

その他				
連絡先・オフィスアワー	<p>[連絡先]            担当：寺島慶子            E-Mail：pfkeiko [at] kdp.biglobe.ne.jp            (※ [at] を@に変更してください)</p> <p>[オフィスアワー]            日時：前期月曜日・後期金曜日 13:30～14:30            場所：非常勤講師室（1号館2階）</p>			
担当教員の実務経験				
備考	<p>[学修時間]            この授業は講義の形態による2単位の科目であり、計90時間（授業30時間以上を含む）の学修を必要とする内容をもって構成する。</p> <p>[実務経験のある教員による授業]            該当しない</p> <p>[その他]            日頃から沢山の音楽に触れて欲しい。コンサート、ミュージカル、オペラを体験して欲しい。            コロナの状況次第で授業計画、成績評価の基準及び方法が変更となる場合がある。</p>			
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	寺島慶子	<p>(授業内容)            音楽総論・音楽とは            私達の日常生活での音楽の役割</p>	<p>(授業方法)            講義</p>	<p>予習 クラシック音楽とは何かを調べる。3時間            復習 日常生活での音楽の使われ方を調べる。2時間</p>
2	寺島慶子	<p>(授業内容)            宗教における音楽の役割について</p>	<p>(授業方法)            CD DVD使用</p>	<p>予習 宗教における音楽の役割を調べる。3時間            復習 宗教に関係する色々な音楽を聴き比べなさい。2時間</p>

3	寺島慶子	(授業内容) バロック音楽	(授業方法) CD DVD使用	予習 オペラとは何かを調べる。3時間 復習 オペラが生まれた理由をまとめよう。 2時間
4	寺島慶子	(授業内容) 古典派の音楽 1 (バロック音楽からの推移)	(授業方法) CD DVD使用	予習 古典派の音楽家を調べる。3時間 復習 古典派の時代背景を調べる。2時間
5	寺島慶子	(授業内容) 古典派の音楽 2 (古典派の音楽の確立)	(授業方法) CD DVD使用	予習 モーツァルトの音楽を聴いておく。2時間 復習 モーツァルトの音楽と彼の人間性についてまとめよう。2時間
6	寺島慶子	(授業内容) ロマン派の音楽1	(授業方法) CD DVD使用	予習 ロマン主義について調べよう。2時間 復習 ロマン主義の文学作品を読んで、音楽に与えた影響を感じ取ろう。2時間

7	寺島慶子	(授業内容) ロマン派の音楽 2	(授業方法) CD DVD使用	予習 ロマン派の音楽家の作品を調べておこ う。2時間 復習 古典派の音楽との相違点についてまと めよう。2時間
8	寺島慶子	(授業内容) ロシアの国民楽派について	(授業方法) CD DVD使用	予習 ロシアの国民楽派について調べよう。 2時間 復習 ロシアの国民楽派がヨーロッパの作品 の響きから距離をおいた理由をまとめよう。 2時間
9	寺島慶子	(授業内容) 東欧の国民楽派	(授業方法) CD DVD使用	予習 チェコの音楽家について調べよう。2 時間 復習 オーストリアの統制下にあったチェコ の音楽家の苦悩を理解し、その響きを聴いて 感じたことをまとめる。2時間
10	寺島慶子	(授業内容) 近代 (印象派)	(授業方法) CD DVD使用	予習 近代に起きた出来事についてまとめな さい。2時間 復習 印象派の音楽がどのような芸術から影 を受けているのか、具体的にまとめなさい。2 時間

11	寺島慶子	<p>(授業内容) 現代音楽 (21世紀) 無調への歩み</p>	<p>(授業方法) CD DVD使用</p>	<p>予習 現代音楽とは何かを調べる。2時間 復習 新しい響き、複雑なリズムが生まれた背景を探る。2時間</p>
12	寺島慶子	<p>(授業内容) 劇場音楽 1 (オーケストラを聴こう)</p>	<p>(授業方法) DVD使用</p>	<p>コンサートに行こう。生の音を耳だけでなく身体全体で体験すること。予習 コンサートの内容を把握しリサーチする。2時間 復習 コンサートの感想をまとめる。2時間</p>
13	寺島慶子	<p>(授業内容) 劇場音楽 2 ミュージカル・オペラ・バレエ鑑賞</p>	<p>(授業方法) DVD使用</p>	<p>劇場公演を体験しよう。予習 公演内容をリサーチしておく。2時間 復習 感想をまとめる。2時間</p>

14	寺島慶子	(授業内容) 心と音楽	(授業方法) CD使用	<p>予習 どんな音楽が心を癒す事が出来るか、いろいろなタイプの音楽を聞いてみよう。2時間</p> <p>復習 気に入った曲を見つけ、音楽がどの様に自分の心に作用したか分析する。2時間</p>
		定期試験	定期試験	定期試験
		なし	なし	なし
		なし	なし	なし

		なし	なし	なし
		なし	なし	なし
		なし	なし	なし
		なし	なし	なし

		なし	なし	なし
		なし	なし	なし
		なし	なし	なし
		なし	なし	なし

		なし	なし	なし
		なし	なし	なし
		なし	なし	なし
		なし	なし	なし

		なし	なし	なし
		なし	なし	なし
		なし	なし	なし
		なし	なし	なし

		なし	なし	なし
		なし	なし	なし
		なし	なし	なし
		なし	なし	なし

		なし	なし	なし
		なし	なし	なし
		なし	なし	なし
			なし	なし

		なし	なし	なし
		なし	なし	なし
		なし	なし	なし
		なし	なし	なし

	なし	なし		なし	なし
--	----	----	--	----	----

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	美術	授業形態	講義
英語科目名	Fine Art	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期	単位数	2単位
代表教員	江藤 匠	ナンバリング	ART1131
担当教員	江藤 匠、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>[授業全体の内容]</p> <p>本年度は近代ヨーロッパ文明の礎になったバロック美術を扱う。一般に反宗教改革のカトリック側の美術とみなされているバロック美術は、イタリアのネルサンス、マニエリスム美術を起源とする地中海文明と、北方のゴシック、グロテスク美術が統合したものと言われる。そこには南方のバトス(情熱)の表現と、北方のエトス(倫理)の表現が融合されている。その流れを15世紀末から17世紀まで、現地で撮影したスライドを鑑賞しながら辿っていきたい。</p>		
到達目標	<p>[授業の到達目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. バロックの主要な画家や彫刻家の名前や作品名を挙げるができる。</li> <li>2. 16世紀のマニエリスム、17世紀のイタリア・バロック、17世紀の北方バロックのそれぞれの性格の違いが理解できる。</li> <li>3. マニエリスム、バロック期におけるフィレンツェ、ローマ、アントウェルペン、ハーレム、マドリッドの都市の果たした役割の違いを理解できる。</li> <li>4. マニエリスムとバロックの宗教建築の性格の変化を理解できる。</li> </ol>		
授業の位置づけ	この授業は、スポーツ健康科学部教育課程における3学科共通選択科目（一般教育科目）に位置付けられる。		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	この科目は「スポーツ健康科学を中心とした教養」というディプロマ・ポリシーの達成に寄与する。		

履修上の注意、履修要件	<p>[履修要件] 特になし</p> <p>[履修上の注意（科目独自のルール）] 試験問題に関しては、事前に大まかな内容をお知らせしますので、しっかり勉強してきてください。参考書等を利用して、確実な知識を身につけてください。</p>
-------------	--

成績評価の方法

評価方法	<p>[成績評価の方法] 成績は、平常点（授業態度、授業に取り組む姿勢）（20%）、定期試験（80%）で評価します。</p>
------	--

評価基準	<p>[成績評価の基準]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. バロックの主要な画家や彫刻家の名前や作品名を挙げることができる。（平常点、定期試験）</li> <li>2. 16世紀のマニエリスム、17世紀のイタリア・バロック、17世紀北方バロックのそれぞれの性格の違いが理解できる。（平常点、定期試験）</li> <li>3. バロック期におけるフィレンツェ、ローマ、アントウェルペン、ハーレム、マドリッドの都市の果たした役割の違いを説明できる。（平常点、定期試験）</li> <li>4. マニエリスムとバロックの宗教建築の性格の変化を説明できる。（平常点、定期試験）</li> </ol>
------	--

試験・課題に対するフィードバック方法

<p>[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法] 本年度は明確ではないが、受講期間中に一回指定された展覧会を鑑賞してきてもらい、レポート一枚に感想を提出してもらう可能性がある。その際は、レポートにコメントを書いて返却する。</p>
--

テキスト

書名	著者	出版社	ISBN	備考
西洋美術の歴史 17～18世紀	大野芳材、中村俊春、宮下規久朗、望月典子	中央公論新社	978-4-12-403596-4	2016年、3800円

参考文献

<p>宮下規久朗著『バロック美術の成立』山川出版社、2003年、729円</p>
--

その他	
連絡先・オフィスアワー	<p>[連絡先] E-mail: takumi_eto [at] seagreen.ocn.ne.jp ※ [at] を@に置換してください</p> <p>[オフィスアワー] オフィスアワーは、本年度の対面授業日に準ずる。 日時：授業期間中の木曜日 14:00～16:30（授業の前後） 場所：1号館2階 非常勤講師室</p>
担当教員の実務経験	<p>[実務経験のある教員による授業] 1995年から三年間、東京芸術大学芸術資料館に非常勤で勤務。</p>
備考	<p>[学修時間] この授業は、講義形式による2単位の科目であり、90時間（授業30時間以上を含む）の学修を必要とする内容をもって構成する。ただし感染症蔓延の状況により対面授業が実施されず、遠隔授業のみか、あるいは遠隔授業が増える場合は、その半分程度の時間になる可能性がある。</p> <p>[その他] 対面授業ではスライド上映中は部屋を暗くするので、メモを取る場合はペンライト等を持参するとよい。但し、感染症蔓延により対面授業が実施されず遠隔授業の場合は該当しない。</p>

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	江藤 匠	<p>(授業内容) イタリア・マニエリスム絵画、ポントルモ、ブロンズイーノ、パミジャニーノ</p> <p>(授業方法) 前半プリントによる解説、後半スライド・プロジェクターによる作品鑑賞</p>	<p>(授業方法) 前半配布したプリントの解説、後半スライド・プロジェクターによる作品鑑賞とリアクションペーパーによる感想文。</p>	<p>(予習) 事前に、大野芳材他著『西洋美術の歴史 17～18世紀』中央公論新社、2016年、宮下規久朗著『バロック美術の成立』山川出版社、2003年などの該当箇所を目を通しておいて下さい。(2.2時間)</p> <p>(復習) ノートの整理、配布されたプリントを読む。(2時間)</p>
2	江藤 匠	<p>(授業内容) マニエリスムとバロックの彫刻 -チェリーニ、ポローニャ、ベルニーニ-</p>	<p>(授業方法) 前半配布したプリントの解説、後半スライド・プロジェクターによる作品鑑賞とリアクションペーパーによる感想文。</p>	<p>(予習) 事前に、大野芳材他著『西洋美術の歴史 17～18世紀』中央公論新社、2016年、宮下規久朗著『バロック美術の成立』山川出版社、2003年などの該当箇所を目を通しておいて下さい。(2.2時間)</p> <p>(復習) ノートの整理、配布されたプリントを読むで、次回の授業に備える。(2時間)</p>

3	江藤 匠	(授業内容) ティントレットとエル・グレコ	(授業方法) 前半配布したプリントの解説、後半スライド・プロジェクターによる作品鑑賞とリアクションペーパーによる感想文。	(予習) 事前に、大野芳材他著『西洋美術の歴史 17～18世紀』中央公論新社、2016年、宮下規久朗著『バロック美術の成立』山川出版社、2003年などの該当箇所に通して読んで下さい。(2.2時間)  (復習) ノートの整理、配布されたプリントを読んで、次回の授業に備える。(2時間)
4	江藤 匠	(授業内容) ホルバイン父子 と北方のロマンスト	(授業方法) 前半配布したプリントの解説、後半スライド・プロジェクターによる作品鑑賞とリアクションペーパーによる感想文。	(予習) 事前に、大野芳材他著『西洋美術の歴史 17～18世紀』中央公論新社、2016年、宮下規久朗著『バロック美術の成立』山川出版社、2003年などの該当箇所に通して読んで下さい。(2.2時間)  (復習) ノートの整理、配布されたプリントを読んで、次回の授業に備える。(2時間)
5	江藤 匠	(授業内容) バロック絵画の創始者ルーベンス	(授業方法) 前半配布したプリントの解説、後半スライド・プロジェクターによる作品鑑賞とリアクションペーパーによる感想文。	(予習) 事前に、大野芳材他著『西洋美術の歴史 17～18世紀』中央公論新社、2016年、宮下規久朗著『バロック美術の成立』山川出版社、2003年などの該当箇所に通して読んで下さい。(2.2時間)  (復習) ノートの整理、配布されたプリントを読んで、次回の授業に備える。(2時間)
6	江藤 匠	(授業内容) カラヴァッジョとカラヴァジェスキ	(授業方法) 前半配布したプリントの解説、後半スライド・プロジェクターによる作品鑑賞とリアクションペーパーによる感想文。	(予習) 事前に、大野芳材他著『西洋美術の歴史 17～18世紀』中央公論新社、2016年、宮下規久朗著『バロック美術の成立』山川出版社、2003年などの該当箇所に通して読んで下さい。(2.2時間)  (復習) ノートの整理、配布されたプリントを読んで、次回の授業に備える。(2時間)

7	江藤 匠	(授業内容) レンブラント とその流派	(授業方法) 前半配布したプリントの解説、後半スライド・プロジェクターによる作品鑑賞とリアクションペーパーによる感想文。	(予習) 事前に、大野芳材他著『西洋美術の歴史 17～18世紀』中央公論新社、2016年、宮下規久朗著『バロック美術の成立』山川出版社、2003年などの該当箇所に通しておいて下さい。(2.2時間)  (復習) ノートの整理、配布されたプリントを読んで、次回の授業に備える。(2時間)
8	江藤 匠	(授業内容) オランダの集団肖像画と風景画 - フランス・ハルスとロイスダール -	(授業方法) 前半配布したプリントの解説、後半スライド・プロジェクターによる作品鑑賞とリアクションペーパーによる感想文。	(予習) 事前に、大野芳材他著『西洋美術の歴史 17～18世紀』中央公論新社、2016年、宮下規久朗著『バロック美術の成立』山川出版社、2003年などの該当箇所に通しておいて下さい。(2.2時間)  (復習) ノートの整理、配布されたプリントを読んで、次回の授業に備える。(2時間)
9	江藤 匠	(授業内容) オランダの室内画の両雄 - ホーホとフェルメール -	(授業方法) 前半配布したプリントの解説、後半スライド・プロジェクターによる作品鑑賞とリアクションペーパーによる感想文。	(予習) 事前に、大野芳材他著『西洋美術の歴史 17～18世紀』中央公論新社、2016年、宮下規久朗著『バロック美術の成立』山川出版社、2003年などの該当箇所に通しておいて下さい。(2.2時間)  (復習) ノートの整理、配布されたプリントを読んで、次回の授業に備える。(2時間)
10	江藤 匠	(授業内容) 17世紀オランダ静物画 -ヘーダ、ヘーム、カルフ-	(授業方法) 前半配布したプリントの解説、後半スライド・プロジェクターによる作品鑑賞とリアクションペーパーによる感想文。	(予習) 事前に、大野芳材他著『西洋美術の歴史 17～18世紀』中央公論新社、2016年、宮下規久朗著『バロック美術の成立』山川出版社、2003年などの該当箇所に通しておいて下さい。(2.2時間)  (復習) ノートの整理、配布されたプリントを読んで、次回の授業に備える。(2時間)

11	江藤 匠	<p>(授業内容)          スペインのバロック絵画 -ペラスケス、ムリーリョ          (。</p>	<p>(授業方法)          前半配布したプリントの解説、後半スライド・プロジェクターによる作品鑑賞とリアクションペーパーによる感想文</p>	<p>(予習)          事前に、大野芳材他著『西洋美術の歴史 17～18世紀』中央公論新社、2016年、宮下規久朗著『バロック美術の成立』山川出版社、2003年などの該当箇所を目を通して下さい。(2.2時間)(予習)</p> <p>(復習)          ノートの整理、配布されたプリントを読んで、次回の授業に備える。(2時間)</p>
12	江藤 匠	<p>(授業内容)          スペインのバロック絵画 -スルバラン、コターン</p>	<p>(授業方法)          前半配布したプリントの解説、後半スライド・プロジェクターによる作品鑑賞とリアクションペーパーによる感想文。</p>	<p>(予習)          事前に、大野芳材他著『西洋美術の歴史 17～18世紀』中央公論新社、2016年、宮下規久朗著『バロック美術の成立』山川出版社、2003年などの該当箇所を目を通して下さい。(2.2時間)(予習)</p> <p>(復習)          ノートの整理、配布されたプリントを読んで、次回の授業に備える。(2時間)</p>
13	江藤 匠	<p>(授業内容)          フランス・バロック美術-ラ・トゥール、ブッサン、ロラン</p>	<p>(授業方法)          前半配布したプリントの解説、後半スライド・プロジェクターによる作品鑑賞とリアクションペーパーによる感想文。</p>	<p>(予習)          事前に、大野芳材他著『西洋美術の歴史 17～18世紀』中央公論新社、2016年、宮下規久朗著『バロック美術の成立』山川出版社、2003年などの該当箇所を目を通して下さい。(2.2時間)</p> <p>(復習)          ノートの整理、配布されたプリントを読んで、次回の授業に備える。(2時間)</p>

14	江藤 匠	<p>(授業内容) バロック美術の落日とロココ美術の勃興-ティエポロ、ヴァトー、ブーシェ</p>	<p>(授業方法) 前半配布したプリントの解説、後半スライド・プロジェクターによる作品鑑賞とリアクションペーパーによる感想文。</p>	<p>(予習) 事前に、大野芳材他著『西洋美術の歴史 17～18世紀』中央公論新社、2016年、宮下規久朗著『バロック美術の成立』山川出版社、2003年などの該当箇所を目を通して下さい。(2.2時間)</p> <p>(復習) ノートの整理、配布されたプリントを読む。(2時間)</p> <p>準備学習の合計時間 60時間</p>
	江藤 匠	定期試験		








--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	スポーツと栄養	授業形態	
英語科目名	Nutrition and Sports Practice	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期	単位数	2単位
代表教員	鈴木 良雄	ナンバリング	BCM2259
担当教員	鈴木 良雄、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>人間は、口から摂取した食品に含まれる栄養素や機能性成分に支えられている。栄養素はエネルギー源、身体の材料となり、また代謝調節作用をもち、人間の成長、活動の源になっている。この授業科目では、栄養素の役割や代謝について理解する。配布された資料に沿って栄養学の基礎とスポーツとの関りを学修する。本授業はアクティブラーニングにより進めるので、受講生は事前配布資料を予習し、授業内で予習した内容を確認し、復習する。</p>		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 栄養素の役割や代謝について説明できる。</li> <li>2. スポーツと栄養の関りについて説明できる。</li> </ol>		
授業の位置づけ	<p>この授業は、スポーツ健康科学部教育課程におけるスポーツ科学科（スポーツ医科学コース）選択必修科目（選択必修2：栄養・発育発達等）に位置付けられる。また、健康運動指導士（必修）、JPSU-ST（必修）、JSP0-AT（選択必修）の指定科目である。</p>		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	<p>この科目は、スポーツ健康科学を中心とした幅広い知識教養、「医学的知識を備えたスポーツ指導者の育成」、および「スポーツ指導現場に詳しい医科学研究者の育成」という学位授与方針の達成に寄与する。</p>		

履修上の注意、履修要件	<p>[履修要件] 特になし</p> <p>[履修上の注意（科目独自のルール）] 授業で使用するスライドはJ-Passの授業資料から各自ダウンロードし、予習してから授業に臨むこと。 1回の授業について、3分の2以上の出席時間がない場合は、その回の 授業を欠席扱いとする。 また、遅刻及び早退3回で、1回分の欠席としてカウントする。</p>
-------------	---

**成績評価の方法**

評価方法	<p>授業態度・取り組む姿勢（20%）、毎回実施する小テスト（20%）、期末のテスト（60%）を総合して評価する。</p>
------	---

評価基準	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 栄養の概念を理解しているか。</li> <li>2. 消化吸収と栄養素の体内動態について基礎的な仕組みを理解している。</li> <li>3. 栄養素の代謝について基礎的な仕組みを理解している。</li> <li>4. 自分に必要な栄養素とその摂取方法について基礎的な仕組みを理解している。</li> <li>5. 運動と栄養素との関わりについて基礎的な仕組みを理解している。</li> </ol>
------	---

**試験・課題に対するフィードバック方法**

<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中に実施した小テストは授業の中で解説する。</li> <li>・疑問点や意見は、毎回び講義にて小テスト入力フォームにて回収し、個別もしくは講義の中でフィードバックする。</li> <li>・期末テストは小テストの内容から抜粋するので、解答は事前に解説済である。</li> </ul>
---

**テキスト**

書名	著者	出版社	ISBN	備考

**参考文献**

<p>毎回の授業資料はJ-Passを通じて配布する。</p>
--------------------------------

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
その他				
連絡先・オフィスアワー	<p>[連絡先] 担当：鈴木良雄 E-mail：yssuzuki[at]juntendo.ac.jp ※[at]を@に変更してください。  [オフィスアワー] 日時：前期期間中の月曜日9:00から11:00 場所：1号館2階1223室 上記の時間帯には、予約なしに質問や相談に応じますが、他の学生の相談時間とかち合わないようするため、できるだけ前日までにE-mailで予約してください。質問や相談は予約のあった学生を優先します。</p>			
担当教員の実務経験	この科目では、一般企業(食品業界)での勤務経験者である教員が、これまでの経験や知識に基づいて講義を展開する。			
備考	<p>[学修時間] この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業30時間と 準備学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。</p> <p>[資格との関連] 本科目はジュニアスポーツ指導員の講習免除資格、健康運動指導士の受験資格の必修科目で、アスレティックトレーナー(AT)受験資格の選択必修科目である。</p> <p>[その他] 新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p>			
1	鈴木良雄	ガイダンス エネルギー源の代謝とスポーツにおける食事の意義について理解する。	スポーツにおける栄養の意義について解説する。5人程度のグループになり、小テストの回答を中心に議論する。疑問点や意見・感想を小テストの回答と共に入カフォームに記入して提出する。	<p>[予習・3時間] 授業で使用するスライドを読んで、小テストの回答を事前に準備すること。</p> <p>[復習・1時間] 小テストで間違えたところを中心に授業内容を見返し、理解を深めておく。</p>
2	鈴木良雄	栄養の概念～栄養の概念について歴史的に学ぶ。	栄養の概念～栄養の概念について歴史的に解説する。5人程度のグループになり、小テストの回答を中心に議論する。疑問点や意見・感想を小テストの回答と共に入カフォームに記入して提出する。	<p>[予習・3時間] 授業で使用するスライドを読んで、小テストの回答を事前に準備すること。</p> <p>[復習・1時間] 小テストで間違えたところを中心に授業内容を見返し、理解を深めておく。</p>

3	鈴木良雄	エネルギー（１）～食事摂取基準とエネルギーについて学ぶ。	<p>食事摂取基準とエネルギーについて解説する。5人程度のグループになり、小テストの回答を中心に議論する。疑問点や意見・感想を小テストの回答と共に入力フォームに記入して提出する。</p>	<p>[予習・3時間] 授業で使用するスライドを読んで、小テストの回答を事前に準備すること。 [復習・1時間] 小テストで間違えたところを中心に授業内容を見返し、理解を深めておく。</p>
4	鈴木良雄	エネルギー（２）～推定エネルギー必要量の計算方法、消費エネルギーの測定方法、エネルギーアベイラビリティ、RED-S、個人差について学ぶ。	<p>推定エネルギー必要量の計算方法、消費エネルギーの測定方法、エネルギーアベイラビリティ、RED-S、個人差について解説する。5人程度のグループになり、小テストの回答を中心に議論する。疑問点や意見・感想を小テストの回答と共に入力フォームに記入して提出する。</p>	<p>[予習・3時間] 授業で使用するスライドを読んで、小テストの回答を事前に準備すること。 [復習・1時間] 小テストで間違えたところを中心に授業内容を見返し、理解を深めておく。</p>
5	鈴木良雄	エネルギー（３）～エネルギーシステムと運動について学ぶ。	<p>エネルギーシステムと運動について解説する。5人程度のグループになり、小テストの回答を中心に議論する。疑問点や意見・感想を小テストの回答と共に入力フォームに記入して提出する。</p>	<p>[予習・3時間] 授業で使用するスライドを読んで、小テストの回答を事前に準備すること。 [復習・1時間] 小テストで間違えたところを中心に授業内容を見返し、理解を深めておく。</p>
6	鈴木良雄	炭水化物（１）～炭水化物の種類、消化・吸収・蓄積、代謝、糖新生について学ぶ。	<p>炭水化物の種類、消化・吸収・蓄積、代謝、糖新生について解説する。5人程度のグループになり、小テストの回答を中心に議論する。疑問点や意見・感想を小テストの回答と共に入力フォームに記入して提出する。</p>	<p>[予習・3時間] 授業で使用するスライドを読んで、小テストの回答を事前に準備すること。 [復習・1時間] 小テストで間違えたところを中心に授業内容を見返し、理解を深めておく。</p>

7	鈴木良雄	炭水化物（2）～アスリートのrecommendation、食物繊維-腸内細菌について学ぶ。	アスリートのrecommendation、食物繊維-腸内細菌について解説する。5人程度のグループになり、小テストの回答を中心に議論する。疑問点や意見・感想を小テストの回答と共に入力フォームに記入して提出する。	<p>[予習・3時間] 授業で使用するスライドを読んで、小テストの回答を事前に準備すること。</p> <p>[復習・1時間] 小テストで間違えたところを中心に授業内容を見返し、理解を深めておく。</p>
8	鈴木良雄	脂質：脂質の種類、消化・吸収・蓄積、代謝について学ぶ。	脂質の種類、消化・吸収・蓄積、代謝について解説する。5人程度のグループになり、小テストの回答を中心に議論する。疑問点や意見・感想を小テストの回答と共に入力フォームに記入して提出する。	<p>[予習・3時間] 授業で使用するスライドを読んで、小テストの回答を事前に準備すること。</p> <p>[復習・1時間] 小テストで間違えたところを中心に授業内容を見返し、理解を深めておく。</p>
9	鈴木良雄	たんぱく質：たんぱく質とアミノ酸、消化・吸収、代謝（タンパク合成、タンパク分解）、アスリートのrecommendationについて学ぶ。	たんぱく質とアミノ酸、消化・吸収、代謝（タンパク合成、タンパク分解）、アスリートのrecommendationについて解説する。5人程度のグループになり、小テストの回答を中心に議論する。疑問点や意見・感想を小テストの回答と共に入力フォームに記入して提出する。	<p>[予習・3時間] 授業で使用するスライドを読んで、小テストの回答を事前に準備すること。</p> <p>[復習・1時間] 小テストで間違えたところを中心に授業内容を見返し、理解を深めておく。</p>
10	鈴木良雄	ビタミン：ビタミンの種類や役割について学ぶ。	ビタミンの種類や役割について解説する。5人程度のグループになり、小テストの回答を中心に議論する。疑問点や意見・感想を小テストの回答と共に入力フォームに記入して提出する。	<p>[予習・3時間] 授業で使用するスライドを読んで、小テストの回答を事前に準備すること。</p> <p>[復習・1時間] 小テストで間違えたところを中心に授業内容を見返し、理解を深めておく。</p>

11	鈴木良雄	ミネラル：ミネラルの種類や役割について学ぶ。	ミネラルの種類や役割について解説する。5人程度のグループになり、小テストの回答を中心に議論する。疑問点や意見・感想を小テストの回答と共に入力フォームに記入して提出する。	<p>[予習・3時間] 授業で使用するスライドを読んで、小テストの回答を事前に準備すること。</p> <p>[復習・1時間] 小テストで間違えたところを中心に授業内容を見返し、理解を深めておく。</p>
12	鈴木良雄	水と電解質：スポーツにおける水や電解質の重要性、不足しない摂取方法について学ぶ。	スポーツにおける水や電解質の重要性、不足しない摂取方法について解説する。5人程度のグループになり、小テストの回答を中心に議論する。疑問点や意見・感想を小テストの回答と共に入力フォームに記入して提出する。	<p>[予習・3時間] 授業で使用するスライドを読んで、小テストの回答を事前に準備すること。</p> <p>[復習・1時間] 小テストで間違えたところを中心に授業内容を見返し、理解を深めておく。</p>
13	鈴木良雄	体重と体組成：スポーツにおける体重や体組成管理の重要性、適切な調整方法について学ぶ。	スポーツにおける体重や体組成管理の重要性、適切な調整方法について解説する。5人程度のグループになり、小テストの回答を中心に議論する。疑問点や意見・感想を小テストの回答と共に入力フォームに記入して提出する。	<p>[予習・3時間] 授業で使用するスライドを読んで、小テストの回答を事前に準備すること。</p> <p>[復習・1時間] 小テストで間違えたところを中心に授業内容を見返し、理解を深めておく。</p>

14	鈴木良雄	スポーツサプリメント～スポーツサプリメントの種類や機能性を通じて食品の機能について学ぶ。	<p>スポーツサプリメントの種類や機能性や食品の機能について解説する。5人程度のグループになり、小テストの回答を中心に議論する。疑問点や意見・感想を小テストの回答と共に入カフォームに記入して提出する。</p>	<p>[予習・3時間] 授業で使用するスライドを読んで、小テストの回答を事前に準備すること。 [復習・5時間] 小テストで間違えたところを中心に授業内容を見返し、理解を深めておく。</p>
		定期試験を実施する		








--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	経営学	授業形態	講義
英語科目名	Business Management	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期	単位数	2単位
代表教員	水野 基樹	ナンバリング	MGT1311
担当教員	水野 基樹、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>(授業全体の内容)</p> <p>経営学の対象とアプローチ方法、近年の企業制度やシステム、経営機能、さらには経営戦略論や経営組織論、経営管理論、意思決定論、人的資源管理論等の視点から解説するとともに、経営学の今日的な諸問題も取り上げます。また講義では、理論の教授に終始することなく、多くの企業事例を取り上げながら経営組織の様々な形態や、経営戦略の基本的内容を解説し、企業の実態を明らかにしていきます。さらに、日本経済新聞やビジネス雑誌の記事、事例DVD (Case Study) なども活用することで、経営学を応用したスポーツマネジメントについての今日的な課題や現状についての理解を深め、スポーツをヒト・モノ・カネ・情報という経営資源の側面からマネジメントができる基礎知識の獲得を目指します。</p>		
到達目標	<p>(授業の到達目標)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 基礎的な経営学理論を論理的に説明できる。</li> <li>2. 日本経済新聞やビジネス雑誌を読みこなすことができる。</li> <li>3. 企業事例 (Case Study) を理論と結び付けて考えることができる。</li> </ol>		
授業の位置づけ	この授業は、スポーツ健康科学部教育課程におけるスポーツマネジメント学科選択必修科目 (選択必修1: 講義系) に位置付けられる。		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	<p>(授業の位置づけ (学位授与方針に定められた知識・能力等との関連))</p> <p>この科目は、スポーツ健康科学部スポーツマネジメント学科の学位授与方針に定める「経営学、社会心理学、社会学等を応用したスポーツマネジメントの知識技能」、「経営資源の側面からマネジメントできる能力」を養う科目として位置づけられる。</p>		

履修上の注意、履修要件	<p>(履修要件) 特になし。</p> <p>(履修上の注意(科目独自のルール)) 受講学生に対して期待することは、大きく以下の5点です。 ①積極的に授業に参加すること ②常に疑問を持つ姿勢 ③感度の良いアンテナを張り、常に情報収集に努めること(特に日本経済新聞など新聞を毎日読む) ④授業で学んだ視点や知識を身近な組織(部活やバイト)に生かす・応用してみる ⑤講義内で登場(紹介)した企業や組織のホームページ(HP)にアクセスし、経営理念や組織体制、事業内容、IR情報などの会社概要や決算情報等を収集し、経営の様子を理解する。</p>
-------------	--

**成績評価の方法**

評価方法	<p>(評価方法) 「経営学」に関する基本的な知識とノウハウの習得、授業参加、事前・事後学習の態度、レポート、期末試験により総合的に判断します。具体的には、授業態度・取り組む姿勢：10%、事前・事後学習10%、レポート課題：10%、定期試験：70%。</p>
------	---

評価基準	<p>(評価基準) 1. 基礎的な経営学理論を論理的に説明できるか定期試験で評価します。 2. 日本経済新聞やビジネス雑誌を読みこなすことができるように、授業の事前・事後の学習を評価します。 3. 企業事例(Case Study)を理論と結び付けて考える能力が向上したかレポート課題により評価します。 4. その他、学習意欲や参加態度を講義内の小テストや課題などで評価します。</p>
------	--

**試験・課題に対するフィードバック方法**

<p>(試験・レポート等の課題に対するフィードバックの方法) 講義内で返却し、模範解答や評価のポイントを提示のうえ、詳細に解説します。</p>
---

**テキスト**

書名	著者	出版社	ISBN	備考
				授業の際に提示する。

**参考文献**

<p>授業の際に提示する。</p>
-------------------

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
その他				
連絡先・オフィスアワー	<p>(連絡先) 担当：水野基樹 mtmizuno[at]juntendo.ac.jp ([at]を@に変更してください)</p> <p>(オフィスアワー) 日時：月曜日 10時～12時、火曜日 15時～16時 場所：1号館3階1320室 ※上記の時間帯は予約が無くても対応しますが、予約があった学生を優先します。 できる限り、前日までにE-Mailで予約するように心掛けてください。</p>			
担当教員の実務経験				
備考	<p>(学習時間) この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業30時間と準備学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。</p> <p>(その他) 新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p>			
1回	水野基樹	<p>(授業内容) 【現代企業の経営と経営学】 企業を取り巻く経営環境と企業の仕組みを理解する。</p>	<p>(授業方法) 講義 経営学の対象領域を説明することで経営学を俯瞰する。</p>	<p>(予習：3時間) 授業で扱うテーマ、問題についての資料を配布し、事後理解を深めるとともに、課題レポート等を課し提出させる。講義の開始時に解説する。 (復習：1時間) 次回のテーマに関する参考資料を配布し、テキストの該当箇所と合わせてリーディング・アサインメントを課す。</p>
2回	水野基樹	<p>(授業内容) 【企業の形態と企業グループ】 企業の代表的な経済的・法律的形態を理解する。</p>	<p>(授業方法) 講義 株式会社の歴史的な発展過程についての解説と企業事例(VTR)を紹介する。</p>	<p>(予習：3時間) 授業で扱うテーマ、問題についての資料を配布し、事後理解を深めるとともに、課題レポート等を課し提出させる。講義の開始時に解説する。 (復習：1時間) 次回のテーマに関する参考資料を配布し、テキストの該当箇所と合わせてリーディング・アサインメントを課す。</p>

3回	水野基樹	<p>(授業内容) 【企業の意思決定と経営者】 企業における階層別意思決定を理解する。</p>	<p>(授業方法) 講義・グループワーク 経営者の役割を説明し、意思決定についての体験ワークを実施する。</p>	<p>(予習: 3時間) 授業で扱うテーマ、問題についての資料を配布し、事後理解を深めるとともに、課題レポート等を課し提出させる。講義の開始時に解説する。 (復習: 1時間) 次回のテーマに関する参考資料を配布し、テキストの該当箇所と合わせてリーディング・アサインメントを課す。</p>
4回	水野基樹	<p>(授業内容) 【企業の目的と責任】 経済的目的と非経済的目的の観点から経営の目的論と目標論を理解する。</p>	<p>(授業方法) 講義 新たな企業の社会的責任(GSR)に関する理論の解説と企業事例(VTR)を紹介する。</p>	<p>(予習: 3時間) 授業で扱うテーマ、問題についての資料を配布し、事後理解を深めるとともに、課題レポート等を課し提出させる。講義の開始時に解説する。 (復習: 1時間) 次回のテーマに関する参考資料を配布し、テキストの該当箇所と合わせてリーディング・アサインメントを課す。</p>
5回	水野基樹	<p>(授業内容) 【経営組織の構造】 経営組織構造のタイプを理解する。</p>	<p>(授業方法) 講義 組織設計(デザイン)の考え方に關する理論の解説と企業事例(VTR)を紹介する。</p>	<p>(予習: 3時間) 授業で扱うテーマ、問題についての資料を配布し、事後理解を深めるとともに、課題レポート等を課し提出させる。講義の開始時に解説する。 (復習: 1時間) 次回のテーマに関する参考資料を配布し、テキストの該当箇所と合わせてリーディング・アサインメントを課す。</p>
6回	水野基樹	<p>(授業内容) 【経営組織の機能】 企業の分業システムと協働システムについて理解する。</p>	<p>(授業方法) 講義 協働関係の意義に関する理論の解説と企業事例(VTR)を紹介する。</p>	<p>(予習: 3時間) 授業で扱うテーマ、問題についての資料を配布し、事後理解を深めるとともに、課題レポート等を課し提出させる。講義の開始時に解説する。 (復習: 1時間) 次回のテーマに関する参考資料を配布し、テキストの該当箇所と合わせてリーディング・アサインメントを課す。</p>

7回	水野基樹	<p>(授業内容) 【組織文化と組織革新】 組織のイノベーションについて概説する。</p>	<p>(授業方法) 講義 創造的組織の構築 と変革プロセスに 関しての理論の解 説と企業事例 (VTR)を紹介す る。</p>	<p>(予習: 3時間) 授業で扱うテーマ、問題についての資料を配 布し、事後理解を深めるとともに、課題レ ポート等を課し提出させる。講義の開始時に 解説する。 (復習: 1時間) 次回のテーマに関する参考資料を配布し、テ キストの該当箇所と合わせてリーディング・ アサインメントを課す。</p>
8回	水野基樹	<p>(授業内容) 【経営戦略の意義と概念】 企業の経営環境と環境適応について詳述する。</p>	<p>(授業方法) 講義 経営戦略の構成要 素に関しての理論 の解説と企業事例 (VTR)を紹介す る。</p>	<p>(予習: 3時間) 授業で扱うテーマ、問題についての資料を配 布し、事後理解を深めるとともに、課題レ ポート等を課し提出させる。講義の開始時に 解説する。 (復習: 1時間) 次回のテーマに関する参考資料を配布し、テ キストの該当箇所と合わせてリーディング・ アサインメントを課す。</p>
9回	水野基樹	<p>(授業内容) 【経営戦略の戦略プロセス】 経営戦略の新潮流 (史的変遷) について理解する。</p>	<p>(授業方法) 講義 経営戦略と戦略形 成プロセスに関し ての理論の解説と 企業事例 (VTR) を紹介する。</p>	<p>(予習: 3時間) 授業で扱うテーマ、問題についての資料を配 布し、事後理解を深めるとともに、課題レ ポート等を課し提出させる。講義の開始時に 解説する。 (復習: 1時間) 次回のテーマに関する参考資料を配布し、テ キストの該当箇所と合わせてリーディング・ アサインメントを課す。</p>
10回	水野基樹	<p>(授業内容) 【経営戦略と情報システム】 企業における情報システムの変遷について理解する。</p>	<p>(授業方法) 講義 経営戦略への情報 システムの適用に 関しての理論の解 説と企業事例 (VTR)を紹介す る。</p>	<p>(予習: 3時間) 授業で扱うテーマ、問題についての資料を配 布し、事後理解を深めるとともに、課題レ ポート等を課し提出させる。講義の開始時に 解説する。 (復習: 1時間) 次回のテーマに関する参考資料を配布し、テ キストの該当箇所と合わせてリーディング・ アサインメントを課す。</p>

11回	水野基樹	<p>(授業内容) 【企業の国際化とグローバルマネジメント】 企業の国際化の発展段階（理論と実践）を理解する。</p>	<p>(授業方法) 講義 グローバル企業における地域統括本社の役割に関する理論の解説と企業事例（VTR）を紹介する。</p>	<p>(予習：3時間) 授業で扱うテーマ、問題についての資料を配布し、事後理解を深めるとともに、課題レポート等を課し提出させる。講義の開始時に解説する。 (復習：2時間) 次回のテーマに関する参考資料を配布し、テキストの該当箇所と合わせてリーディング・アサインメントを課す。</p>
12回	水野基樹	<p>(授業内容) 【企業の国際的協調と競争行動】 企業の国際競争力の構築プロセスについて理解する。</p>	<p>(授業方法) 講義 組織間関係論と戦略的アライアンスに関する理論の解説と企業事例（VTR）を紹介する。</p>	<p>(予習：3時間) 授業で扱うテーマ、問題についての資料を配布し、事後理解を深めるとともに、課題レポート等を課し提出させる。講義の開始時に解説する。 (復習：2時間) 次回のテーマに関する参考資料を配布し、テキストの該当箇所と合わせてリーディング・アサインメントを課す。</p>
13回	水野基樹	<p>(授業内容) 【ベンチャー企業経営】 企業家精神とベンチャー・スピリットについて理解する。</p>	<p>(授業方法) 講義 エクセレントカンパニー（超優良企業）の条件に関する理論の解説と企業事例（VTR）を紹介する。</p>	<p>(予習：3時間) 授業で扱うテーマ、問題についての資料を配布し、事後理解を深めるとともに、課題レポート等を課し提出させる。講義の開始時に解説する。 (復習：2時間) 次回のテーマに関する参考資料を配布し、テキストの該当箇所と合わせてリーディング・アサインメントを課す。</p>

14回	水野基樹	<p>(授業内容)  【TOP革新の重要性】  現代企業に求められるイノベーションを整理・体系化する。</p>	<p>(授業方法) 講義  TOP革新と経営者  に関しての理論の  解説と企業事例  (VTR) を紹介す  る。</p>	<p>(予習: 3時間)  授業で扱うテーマ、問題についての資料を配  布し、事後理解を深めるとともに、課題レ  ポート等を課し提出させる。講義の開始時に  解説する。  (復習: 2時間)  次回のテーマに関する参考資料を配布し、テ  キストの該当箇所と合わせてリーディング・  アサインメントを課す。</p>
15回	水野基樹	定期試験の実施		








--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）